

第3章

キー入力練習

この章では、「キー入力練習ソフト」を使って文字入力の練習（英文字）、文字の修正、文字入力の練習（ひらがな）、ファンクションキーの使い方、機能キー・**CAPS**キーの使い方、シフトキー・カナキーの使い方、マウスの使い方の練習を行います。

1. Lesson 1（文字入力の練習（英文字））

このレッスンでは、英文字（A～Z）の入力練習を行います。

練習を始める前に、このレッスンで使用するキーボードやキーの説明とレッスンの進め方の説明をします。

(1) Lesson 1で学習するキーボードとキー

このレッスンでは、簡易型キーボード#1（標準キーボードも使用可）を使用しますので接続して下さい。（キーボードの接続は、必ずパソコン本体の電源を切ってから行いましょう）

また、このレッスンで学習する主なキーは、次のとおりです。

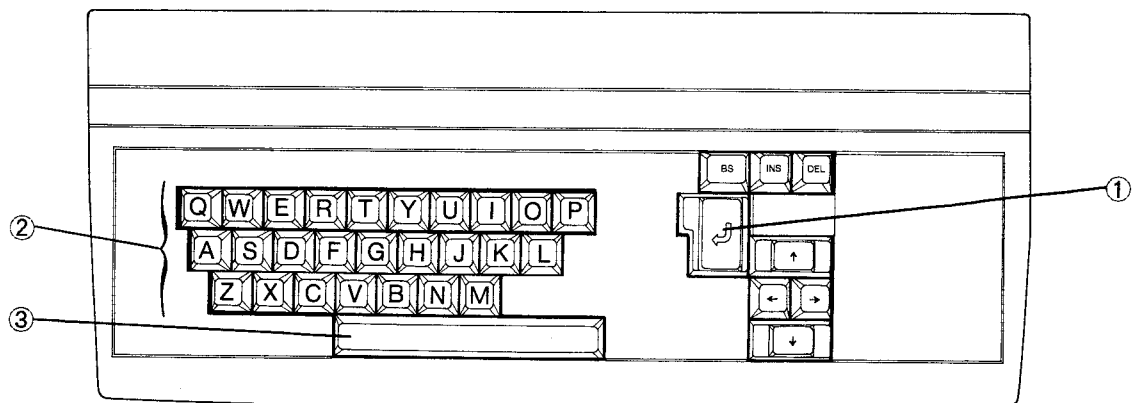






図3-1 Lesson 1で学習するキー

① リターンキー（）

入力した文字の確定に使います。

② 英文字キー（～）

アルファベットの配列は、使用頻度に応じてキーの配列が決められています。

③ スペースキー（）

スペース（空白文字）の入力に使います。このキーを押すと、1文字分の空白が空きます。

(2) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。



① 説明文を読む

画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

② 文字を入力する

入力練習する画面では、例文が表示されますので指示に従ってその例文を入力します。

③ 次の画面に進む


次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。

(3) キー入力練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、簡易型キーボード#1がセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終了	プログラムの終了
↑ ↓ キーを押すと上下に移動します。  キーで決定します。	

メニュー選択画面より **Lesson 1** を選択して下さい。

メモ

◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の実習 (英文字)

このレッスンでは英文字の入力の実習を行ないます。
入力する文字がわからなくなった時は、画面に表示されているキーボードを参考にして下さい。
今、表示されている赤い色のキーはリターンキー (↵) とい
います。
★ ↵ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1

画面の説明文をよく読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

↵ キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の実習 (英文字)

それでは実際に文字を入力してみましょう。
押すキーは赤色で表示されます。
下に表示された例文を入力して下さい。

例文→ ABCDEFGHI JKLMN
█

KEYBOARD 1

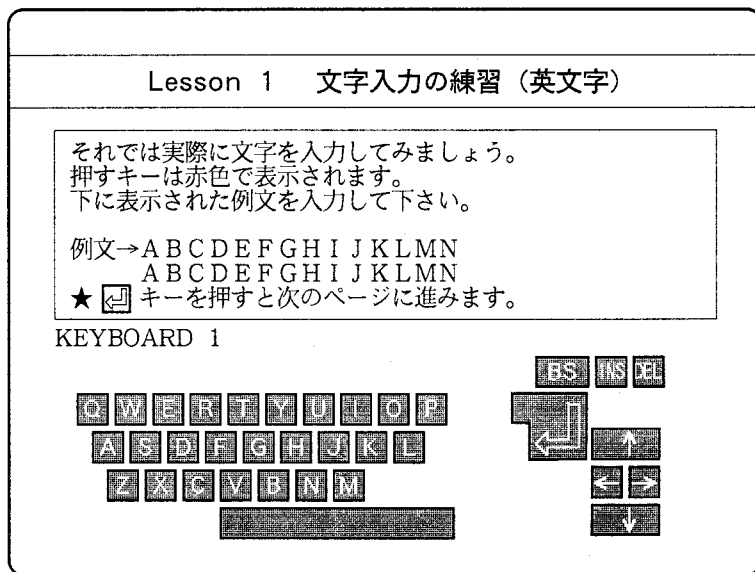
説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

メモ

◆ここでは、リターンキー (↵) の位置と名前を覚えましょう。

◆ここでは、英文字キー (A ~ N) の位置を覚えましょう。

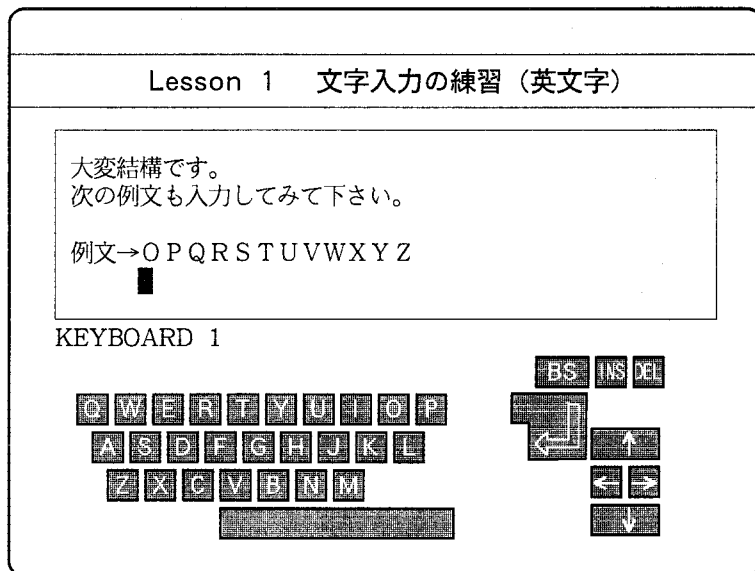
例文の最後の文字を入力すると次のような画面になります。



それでは、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



前の画面と同じように説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

メモ

◆このソフトでは、例文以外のキーを押してしまった場合は、入力を受け付けなくなっています。

また、画面のキーボードに入力するキーの位置が赤色で表示されるようになっていますので参考にして下さい。

◆例文の入力がすべて終わると「★ キーを押すと次のページに進みます」というメッセージが表示されます。

◆ここでは、英文字キー (O ~ Z) の位置を覚えましょう。



例文の入力が終わりましたら、「★ キーを押すと次のページに進みます。」というメッセージを確認して キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)

はい、結構です。
最初のうちは入力の手はゆっくりで構いません。
キーボードの画面でキーの位置を確認しながら、入力してみてください。

★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1

説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


さて、次の例文を見て下さい。
文字と文字の間に空白がありますね。
空白を1文字分空けるにはスペースキーを使います。

例文→ABC DEF GHI

★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1

説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

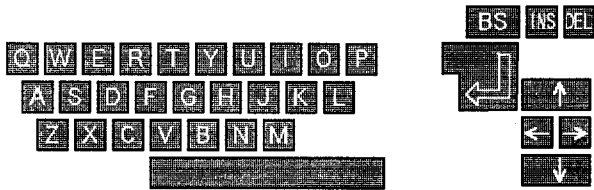
Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)

スペースキーは、キーボードの下の段にある細長いキーです。
(キーボードの図で、赤色で表示されているキーです)
スペースキーを1回押すと、1文字分の空白が空きます。


例文→ABC DEF GHI

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1



説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

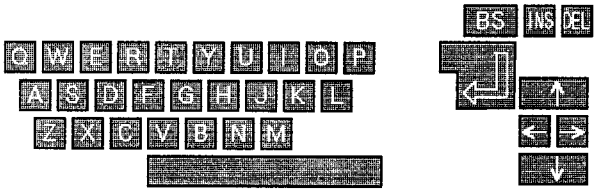
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)

それでは、スペースキーを使いながら例文を入力して下さい。

例文→ABC DEF GHI

KEYBOARD 1




説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

メモ

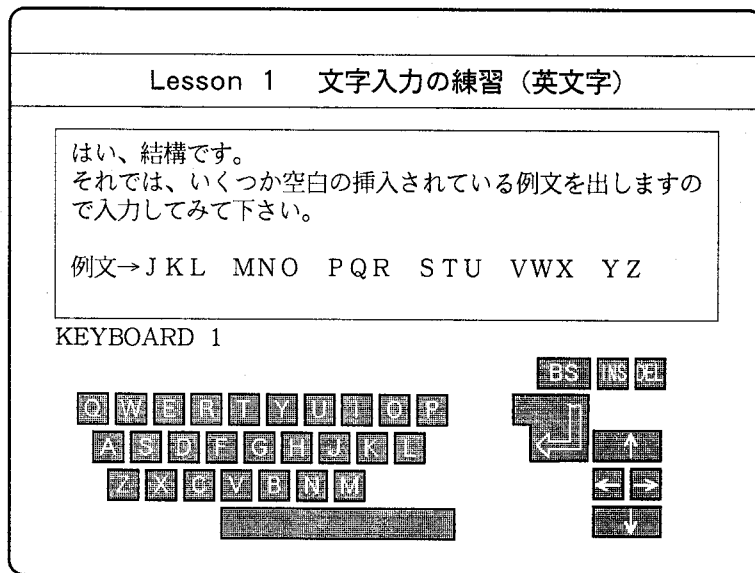
◆ここでは、スペースキーの位置と機能を覚えましょう。

◆例文の間の空白部分の入力は、スペースキーを使います。


例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

メモ

画面は、次のようになります。



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

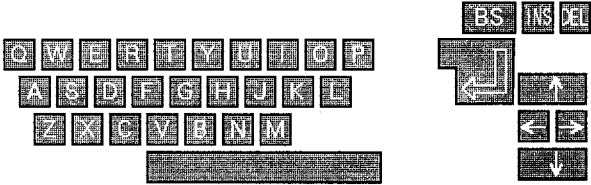
◆前の画面の時と同じように、例文の間の空白部分の入力は、スペースキーを使います。

Lesson 1 文字入力の実習 (英文字)


はい、結構です。
次の例文も入力して下さい。

例文→ASDFG HJKL LKJH GFDSA

KEYBOARD 1



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。


画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の実習 (英文字)


はい、結構です。
次の例文も入力して下さい。

例文→QWERT YUIOP POIUY TREWQ

KEYBOARD 1

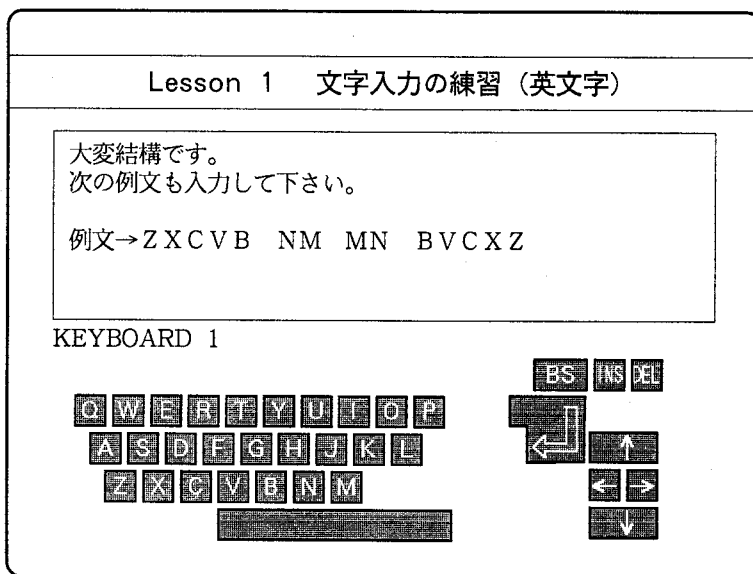


説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。


例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。



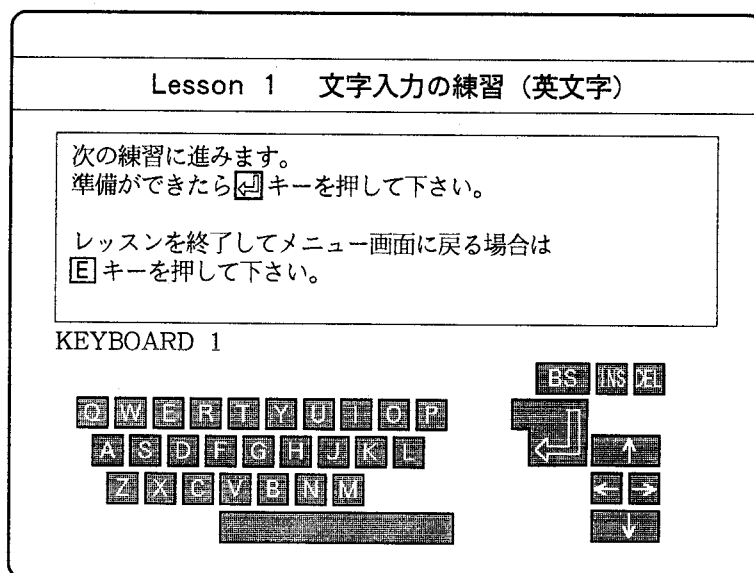
画面は、次のようになります。



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

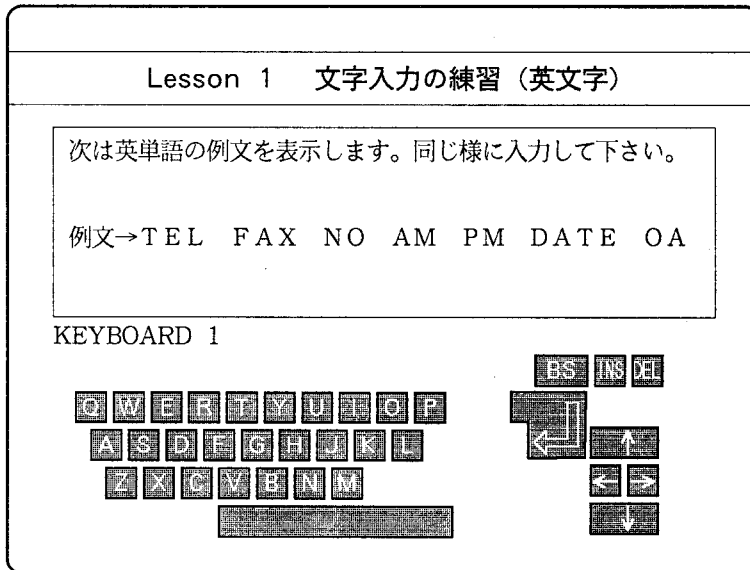


この画面は、このままレッスンを続けるかどうかを確認する画面です。

ここで、レッスンを中断する場合は、**[E]** キーを押して、メニュー選択画面に戻ります。

このままレッスンを続ける場合は、**[↵]** キーを押して下さい。

[↵] キーを押すと、画面は次のようになります。



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、**[↵]** キーを押して下さい。

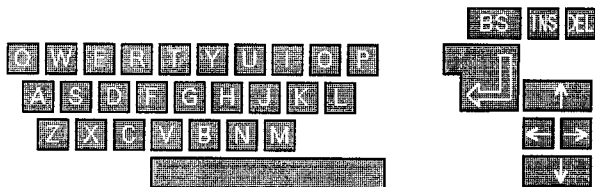
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


はい、結構です。
単語の間のスペースに気を付けて次の例文も入力して下さい。

例文→JAL JAS JTB JCB ANA ANK KDD

KEYBOARD 1



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

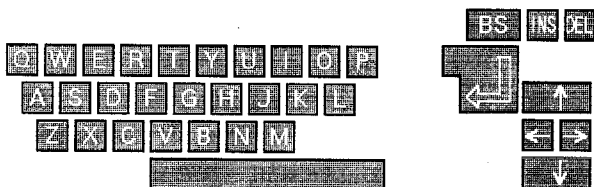
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


はい、結構です。
次の例文も入力して下さい。

例文→NEC NKK NHK NTT IBM UCC TBS

KEYBOARD 1



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

メモ

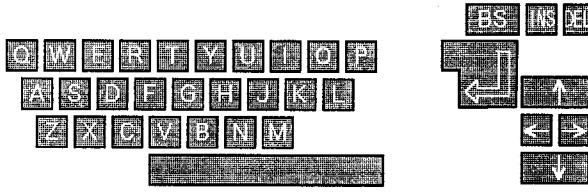
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


はい、結構です。
次の例文に出てくる単語はコンピュータを使っているとよく見かけるようになると思います。練習してみてください。

例文→COPY DIR TYPE FORMAT CLS

KEYBOARD 1



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

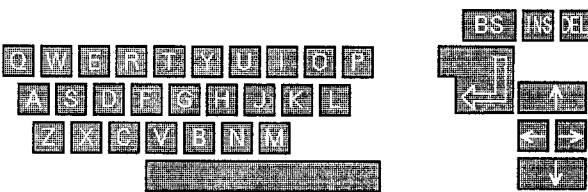
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


はい、結構です。
次は英文の例文です。入力して下さい。

例文→THERE IS A TOWER IN TOKYO

KEYBOARD 1

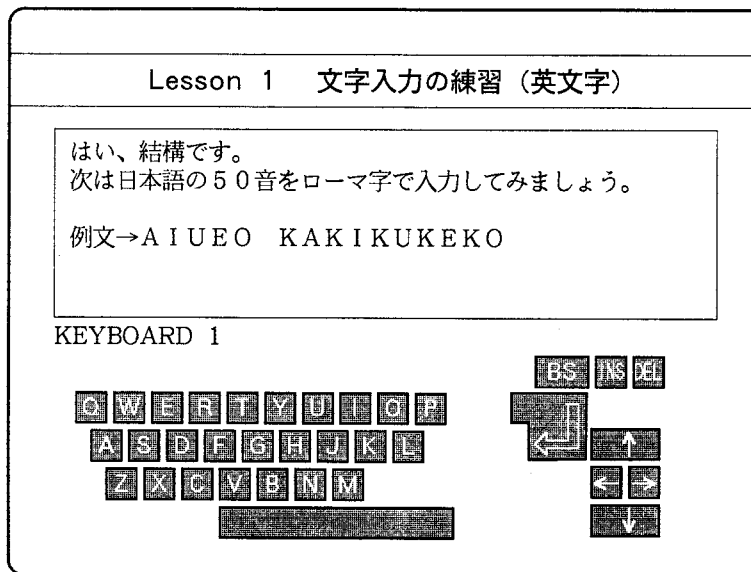


説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。


例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。



画面は、次のようになります。



説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

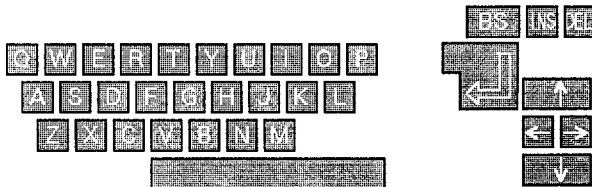
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


はい、結構です。
50音の続きです。

例文→S A S I S U S E S O T A T I T U T E T O

KEYBOARD 1




説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

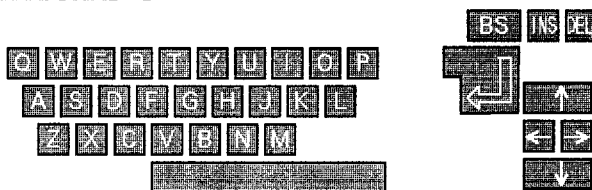
画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)


はい、大変結構でした。
キーボードには慣れてきましたか？
次はキーボードの図を見ないで入力してみましょう。
入力するスピードはゆっくりで構いませんから、落ち着いて
入力して下さい。

★ キーを押すと次のページに進みます。

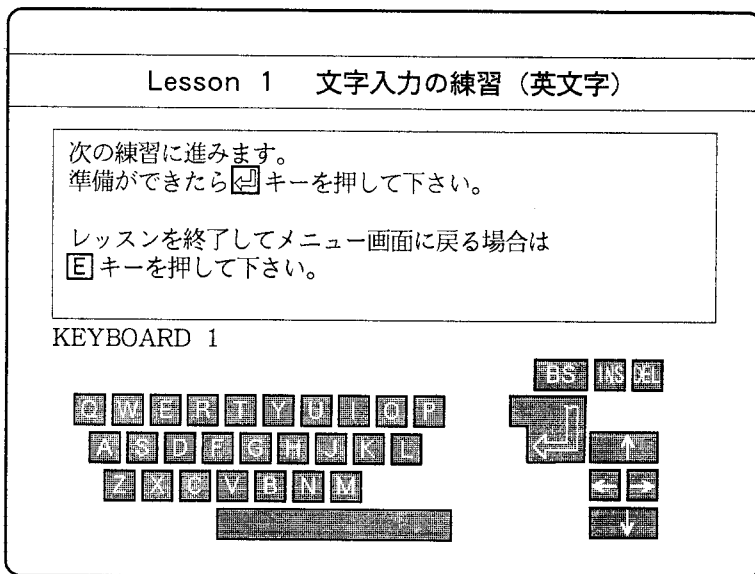
KEYBOARD 1



説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

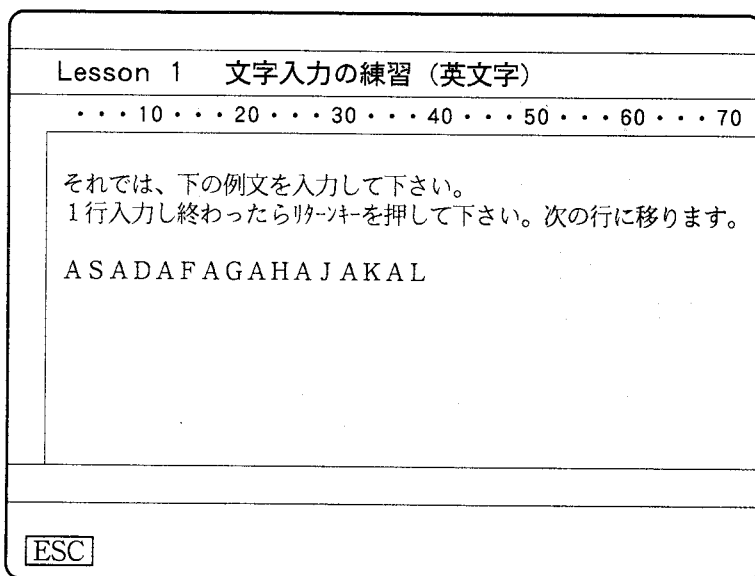


この画面は、このままレッスンを続けるかどうかを確認する画面です。

ここで、レッスンを中断する場合は、 キーを押してメニュー画面に戻ります。


このままレッスンを続ける場合は、 キーを押して下さい。

キーを押すと、画面は次のようになります。




説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

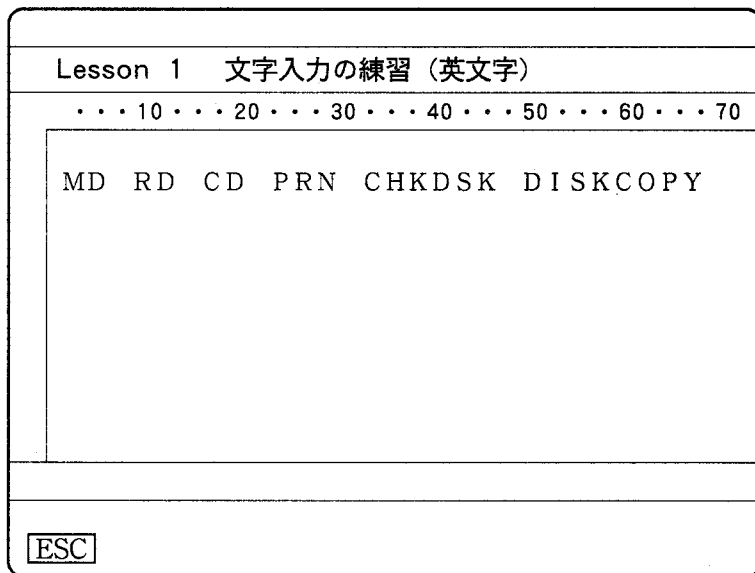


1行入力が終わりましたら  キーを押して下さい。
次の行に、新しい例文が表示されていきます。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

```
ASADAHAGAHAKAL
IPIOIUIYITIRIEIWIQ
OZOXOCOVOBONOM
UAUSUDUFUGUHUJUKUL
```

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、
次のようになります。






同じように、画面に表示されている例文を入力して下さい。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

メモ


```
MD RD CD PRN CHKDSK DISKCOPY  
PERSONAL COMPUTER WORD PROCESSOR  
KAKUI HAIKEI KEIGU NITIJI BASYO  
KISYANIOKAREMASITEHA MASU MASU  
GOSEIEINO KOTOTO OYOROKOBI
```

例文の入力が終わり、キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 1 文字入力の練習 (英文字)
... 10 ... 20 ... 30 ... 40 ... 50 ... 60 ... 70
これでこのレッスンは終了です
 キーを押すとメニュー画面に戻ります


これで、Lesson 1は、終了です。

メニュー画面に戻りましょう。

 キーを押して下さい。

2. Lesson 2 (文字の修正)

このレッスンでは、文字の修正と文字入力の練習を行います。

練習を始める前に、このレッスンで使用するキーボードやキーの説明とレッスンの進め方の説明をします。

(1) Lesson 2で学習するキー

このレッスンでは、簡易型キーボード#1 (標準キーボードも使用可) を使用します。

また、このレッスンで学習する主なキーは、次のとおりです。

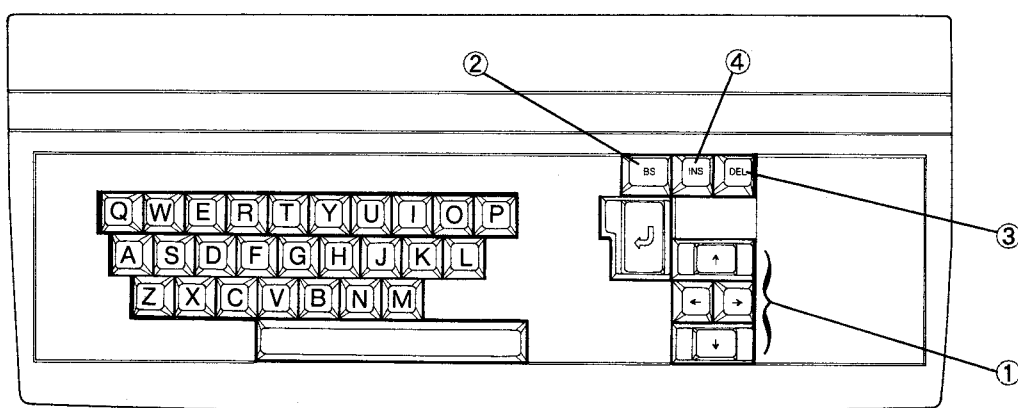


図3-2 Lesson 2で学習するキー

- ① カーソル移動キー (← → ↓ ↑)
カーソルを移動させるためのキーです。
- ② バックスペースキー (**BS**)
カーソルの前の文字を消します。
- ③ デリートキー (**DEL**)
カーソル上の文字を消します。
- ④ インサートキー (**INS**)
挿入モードと上書モードの切り換えに使います。

(2) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。

① 説明文を読む



画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

このレッスンでは、説明文や指示文の他にカーソルの移動する動きなどが表示される画面がありますので、その時は指示に従って画面のキーボードと例文をよく見ていて下さい。

② 文字修正、入力の練習をする

画面の指示に従って、実際に文字修正の練習をします。また、入力練習する画面では、例文が表示されますので指示に従ってその例文を入力します。

③ 次の画面に進む

次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。




(3) キー入力練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、簡易型キーボード#1がセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終	プログラムの終了

  キーを押すと上下に移動します。  キーで決定します。

メニュー選択画面より Lesson 2 を選択して下さい。

メモ


◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。

◆Lesson1 から引き続きこのレッスンに進んだ場合は、起動の必要はありません。

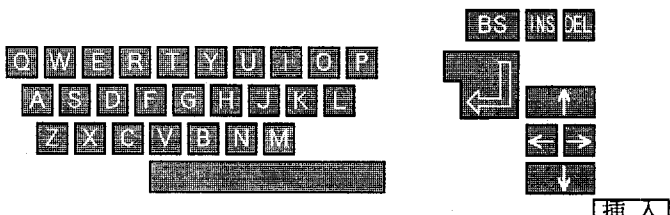
画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 2 文字の修正


このレッスンでは入力した文字を修正する練習を行います。
まずは下の例文を見て下さい。
例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY
I WILL GO TO TOKYO TODAY
ON BUSINESS
★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1




挿入

画面の説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

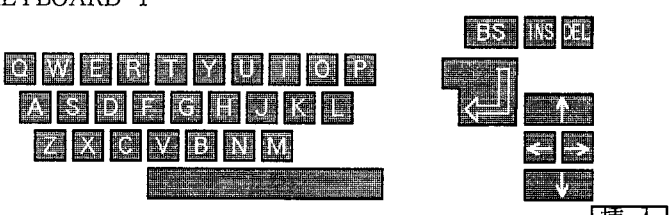
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 2 文字の修正

例文の最後に、点滅している四角 (■) がありますね。
この■をカーソルといいます。
カーソルは文字を入力する位置を表します。
例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY
I WILL GO TO TOKYO TODAY
ON BUSINESS■
★  キーを押すと次のページに進みます。


KEYBOARD 1



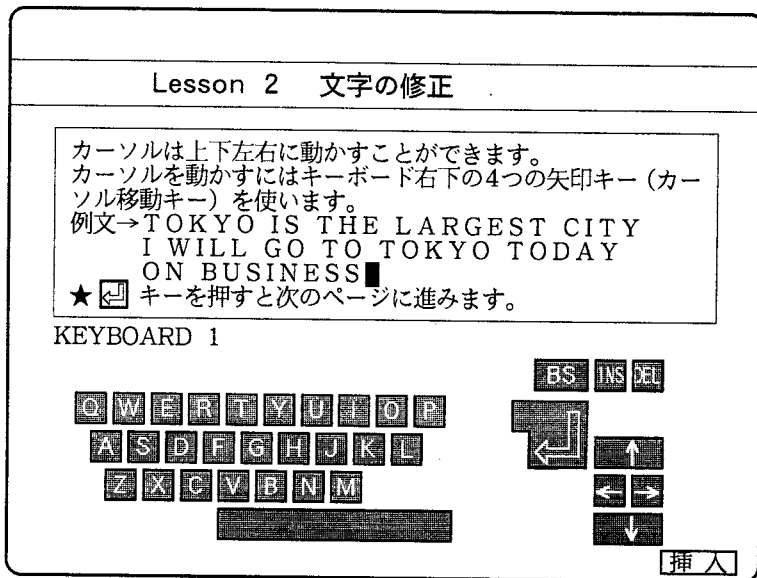
挿入

◆ここでは、カーソルという名前を覚えましょう。

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

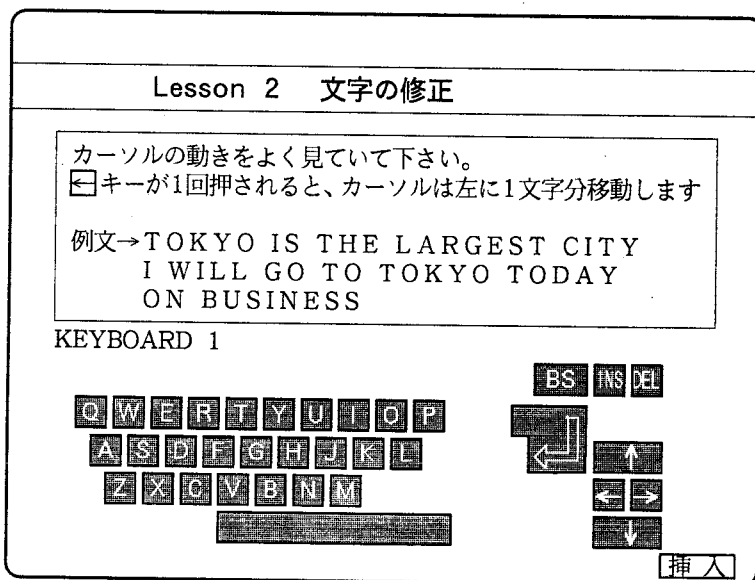
画面は、次のようになります。



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には、 キーを押した時のカーソル移動の様子が表示されますので画面をよく見てみましょう。

キーを押して下さい。



画面の説明とカーソルの動く様子を見て、カーソル移動キー（）の機能が理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には、 キーを押した時のカーソル移動の様子が表示されますので、画面をよく見てみましょう。


キーを押して下さい。

メモ

◆ここでは、カーソル移動キー（ ）の位置とカーソル移動キーという名前を覚えましょう。

◆ここでは、カーソル移動キー（）の機能を覚えましょう。

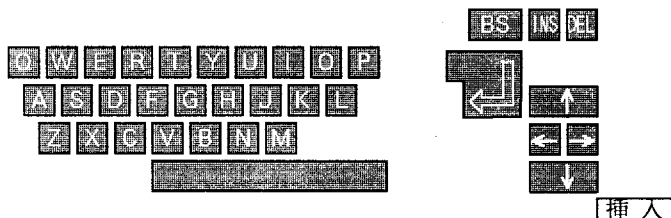
Lesson 2 文字の修正


同じ様に  キーが押されると、カーソルは右に1文字分移動します。



画面のカーソルの動きを見て下さい。


例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY
I WILL GO TO TOKYO TODAY
ON BUSINESS

KEYBOARD 1





画面の説明とカーソルの動く様子を見て、カーソル移動キー () の機能が理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には、 キーを押した時と  キーを押した時のカーソル移動の様子が表示されますので、画面をよく見ていきましょう。

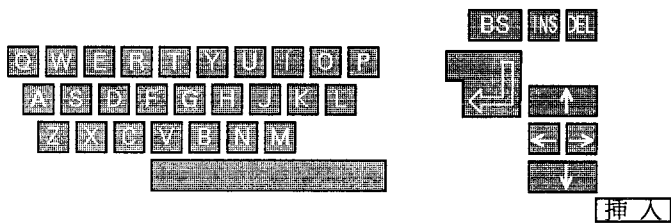
 キーを押して下さい。



Lesson 2 文字の修正


同じ様に  キー、 キーが押されると、それぞれ上下に1行ずつカーソルが移動します。


例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY
I WILL GO TO TOKYO TODAY
ON BUSINESS


KEYBOARD 1





カーソル移動キー (, ) の機能が理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には、改行の方法として  キーを押した時のカーソル移動の様子が表示されますので、画面をよく見ていきましょう。

 キーを押して下さい。

◆ここでは、カーソル移動キー () の機能を覚えましょう。

◆ここでは、カーソル移動キー (, ) の機能を覚えましょう。


Lesson 2 文字の修正


文章を1行入力し終わり、改行して次の行に移る時はリターンキーを使います。リターンキーを押すと、カーソルは次の行の先頭に移動します。
 例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY

KEYBOARD 1

挿入


文章を1行入力し終わった時の改行の方法について理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には、文章の途中で  キーを押した時の様子が表示されますので画面をよく見てみましょう。

 キーを押して下さい。


Lesson 2 文字の修正


文章の途中でカーソルを移動してリターンキーを押すと・・・

例文→TOKYO IS THE LARGEST  CITY

KEYBOARD 1


挿入


文章の途中で  キーを押した時の改行について理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

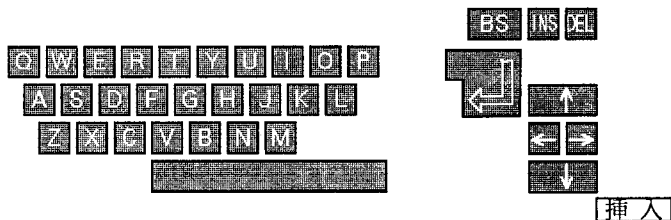
画面は次のようになります。

Lesson 2 文字の修正


次の練習に進みます。
準備ができたなら  キーを押して下さい。


レッスンを終了してメニュー画面に戻る場合は
 キーを押して下さい。

KEYBOARD 1




この画面は、このままレッスンを続けるかどうかを確認する画面です。

レッスンを続ける場合は、 キーを押します。

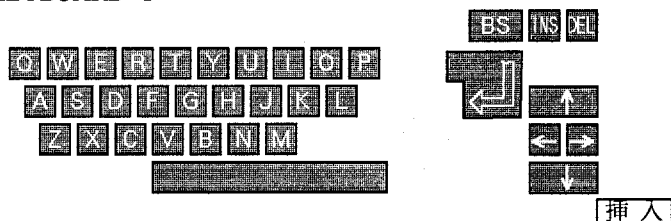
 キーを押すと、画面は次のようになります。


Lesson 2 文字の修正


次は実際に文字を修正する方法について説明します。
キーボードの上の段にバックスペース (BS) というキーがあります。


★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。次の画面では、 キーの機能について説明します。

 キーを押して下さい。

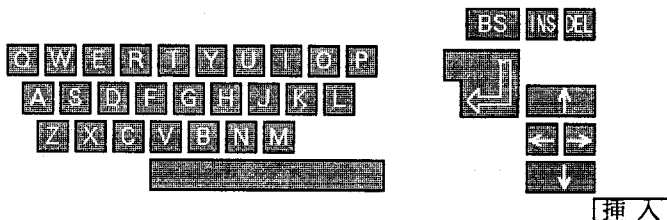
◆ここでは、バックスペースキー () の位置と名前を覚えましょう。

Lesson 2 文字の修正


このキーを1回押すと、カーソルの前にある文字が1文字削除されます。
実際にどのように文字が消えるか見てみましょう。

例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY

KEYBOARD 1



BS キーについて理解できましたら次の画面に進みましょう。次の画面では、**DEL** キーについて説明します。

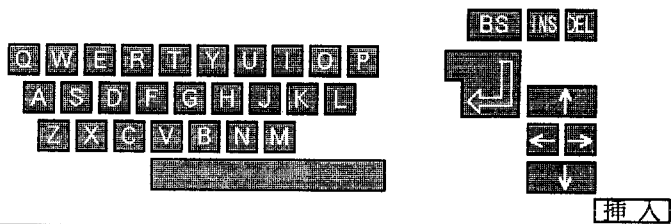
 キーを押して下さい。

Lesson 2 文字の修正


デリート (DEL) キーも文字を消す時に使います。
このキーは、カーソル上の文字を1文字消します。
今回はカーソルを左に動かした後、DELキーで消します。

例文→TOKYO IS THE LARGEST CITY

KEYBOARD 1



DEL キーについて理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。


◆ここでは、バックスペースキー (**BS**) の機能を覚えましょう。

◆ここでは、デリートキー (**DEL**) の名前と位置、機能を覚えましょう。

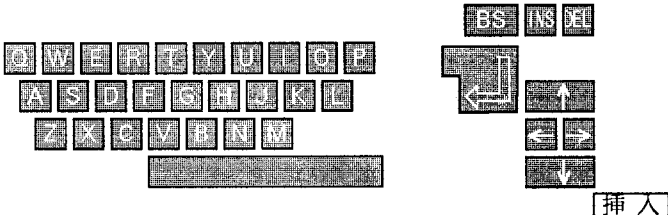
画面は、次のようになります。

Lesson 2 文字の修正


このように、**BS** キーを押し続けると文字は次々と削除され、カーソルは前に移動して行きます。
DEL キーを押すと、カーソルのところにある文字が1文字消え、後ろの文字列がつまります。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1




説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

 キーを押して下さい。

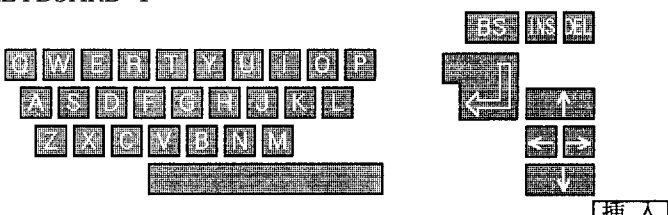
画面は次のようになります。

Lesson 2 文字の修正


さて、今度は文章の途中に別の文字を挿入する方法を説明します。
画面の右下を見て下さい。**挿入** と表示されていますね。
普段文字を入力する時は、文の途中に文字を入力すると以降の文字列は自動的に繰り下がります。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 1



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 2 文字の修正

実際にカーソルを文の途中で移動して文字を入力してみますので、画面を見て下さい。
SALEの前にFORと挿入します。

例文→THIS CAR IS SALE

KEYBOARD 1

挿入

文章の途中で別の文字を挿入する方法について理解できましたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は次のようになります。

Lesson 2 文字の修正

また画面の右下を見て下さい。今度は **上書** と表示されていますね。
上書の時は、新しく文字を入力すると、元の文字列に重ね書きされます（元の文字は消されます）。

例文→THIS CAR IS SALE

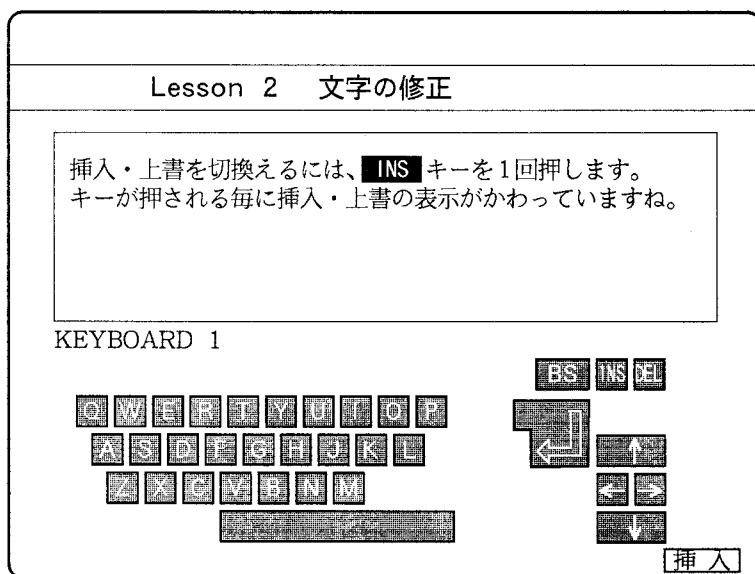
KEYBOARD 1

上書


文章の文字に新しく文字を重ね書きする方法（上書）について、理解できましたら次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

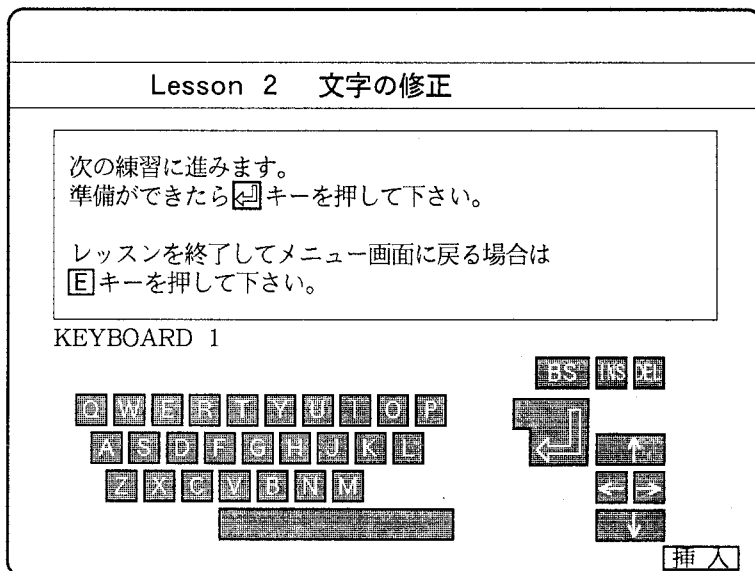
画面は、次のようになります。




画面の説明で **INS** キーの機能が理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



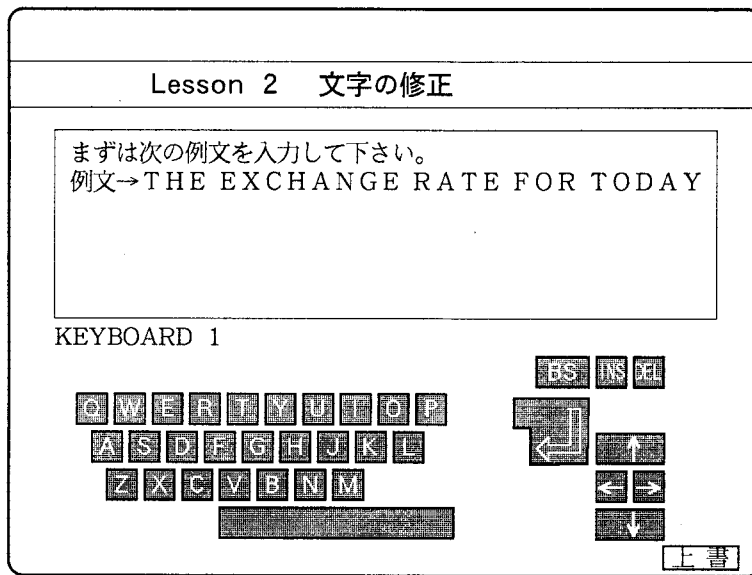
この画面は、このままレッスンを続けるかどうかを確認する画面です。


レッスンを続ける場合は、 キーを押して下さい。

メモ

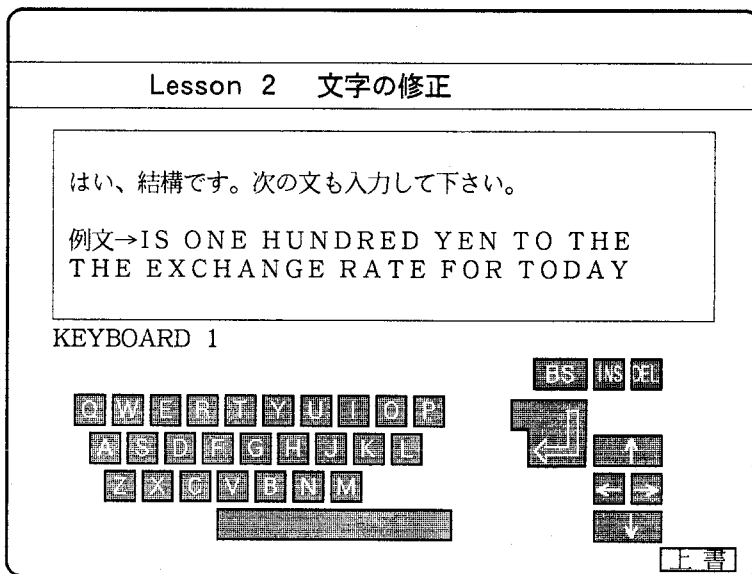
◆ここでは、インサートキー (**INS**) の機能を覚えましょう。


画面は、次のようになりますので、例文の入力をして下さい。



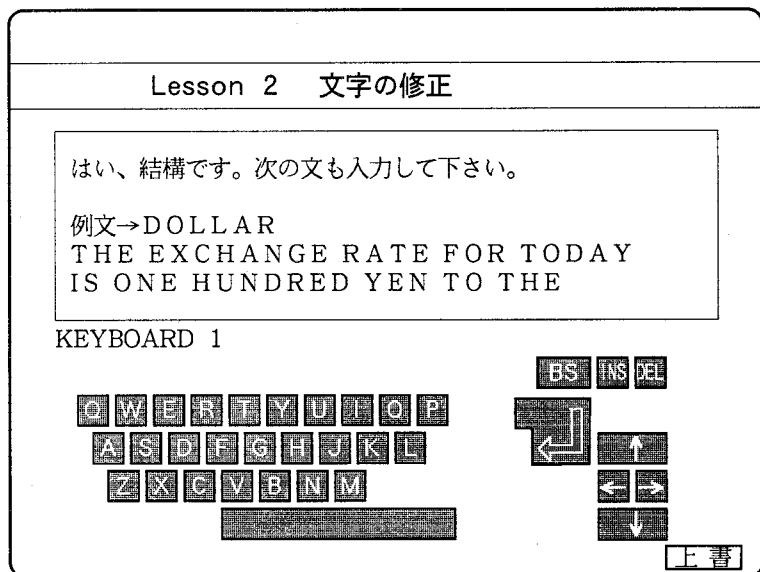
例文の入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。


画面は、次のようになりますので、2行目の例文の入力をして下さい。



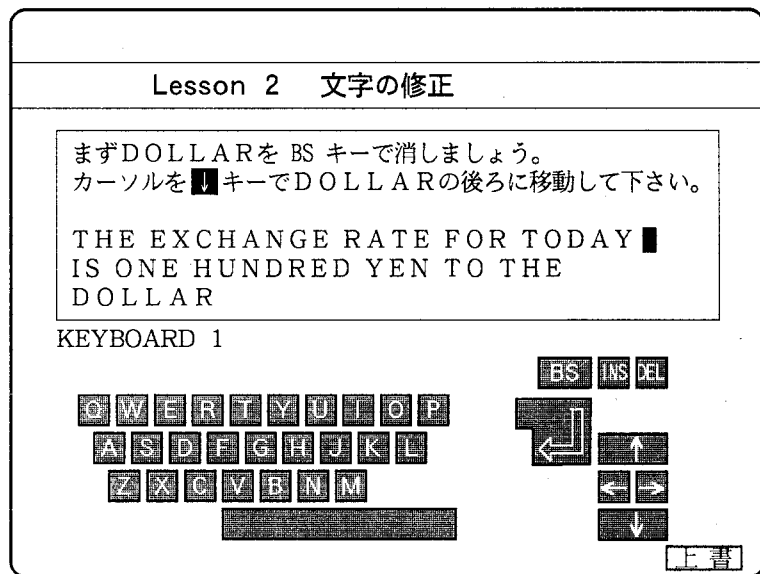
2行目の例文の入力が終わりましたら  キーを押して下さい。

画面は、次のようになりますので、3行目の例文を入力して下さい。




3行目の例文の入力が終わりましたら  キーを押して下さい。

画面は、次のようになりますので、指示どおりにカーソルを移動して下さい。



指示どおりにカーソルを移動できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 2 文字の修正

はい、結構です。
では、BS キーを押してDOLLARを消して下さい。

THE EXCHANGE RATE FOR TODAY
IS ONE HUNDRED YEN TO THE
DOLLAR █

KEYBOARD 1

指示どおりに **BS** キーを使ってDOLLARの文字を
消し終わりましたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 2 文字の修正

それでは、DOLLARを消したところに、今度はPOUND
と入力して下さい。

THE EXCHANGE RATE FOR TODAY
IS ONE HUNDRED YEN TO THE
█

KEYBOARD 1

入力できましたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

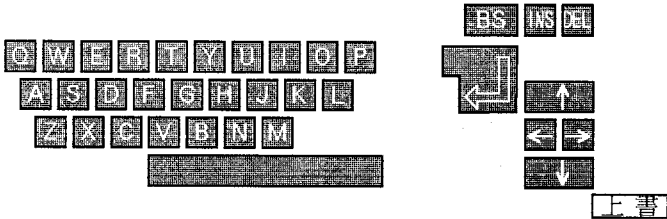
画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 2 文字の修正

はい、次は2行目のONEをTWOに直してみましょう。
まずはカーソルを上の方に移動して、ONEのOの上まで動かして下さい。
THE EXCHANGE RATE FOR TODAY
IS ONE HUNDRED YEN TO THE
POUND █

KEYBOARD 1



カーソルを移動できましたら、次の画面に進みましょう。

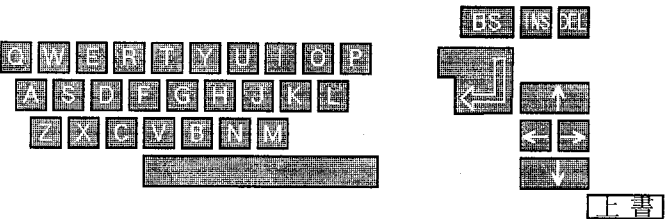
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 2 文字の修正

それでは、DELキーでONEを消しましょう。
・・・その前に画面右下の表示は挿入になっていますか？
なっていない時はINSキーを押して上書を挿入にかえて下さい。
THE EXCHANGE RATE FOR TODAY
IS ONE HUNDRED YEN TO THE
POUND

KEYBOARD 1

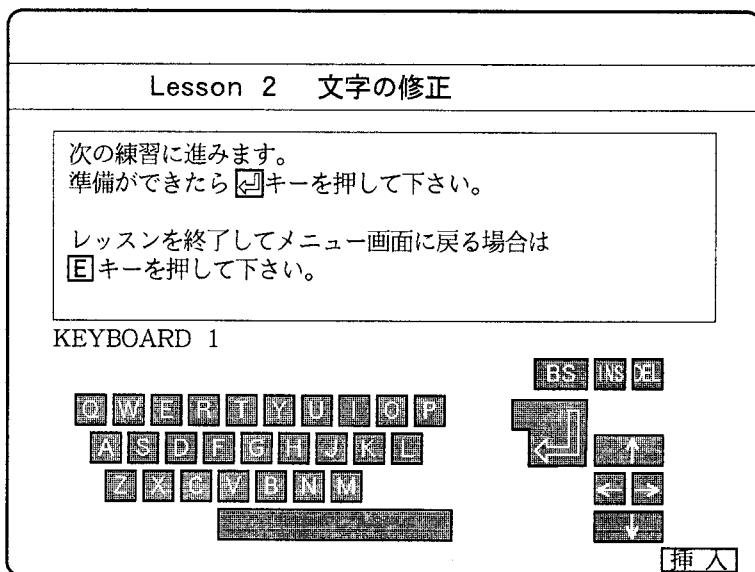


指示どおりに、文字を変更できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

◆ここでは、INSキーを1度押して上書を挿入モードに変更してから、DELキーでONEの文字を消して、TWOと入力しましょう。

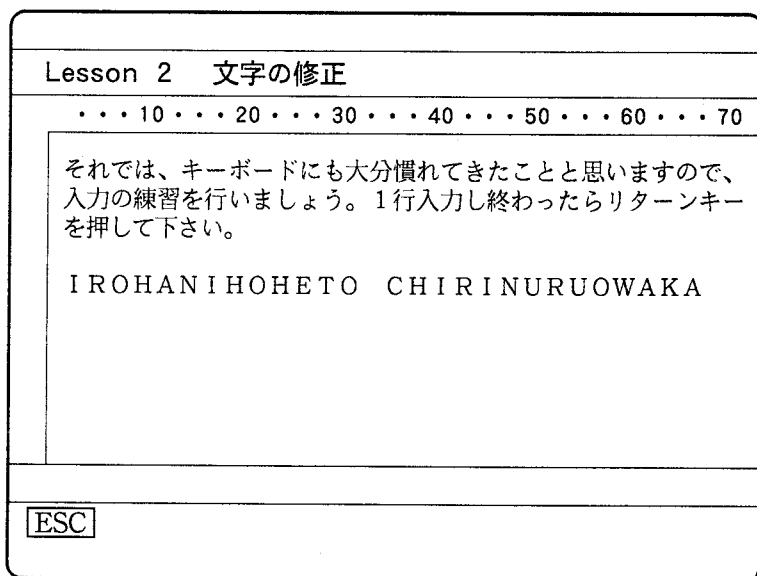
画面は、次のようになります。




この画面は、このままレッスンを続けるかどうかを確認する画面です。

レッスンを続ける場合は、[Enter] キーを押して下さい。

[Enter] キーを押すと、画面は、次のようになります。





説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

1行入力が終わりましたら  キーを押して下さい。
次の行に、新しい例文が表示されます。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

```
IROHANIHOHETO CHIRINURUWOWAKA
ZUI ZUI ZUKKOROBASHI GOMAMISO ZUI
CHATUBONI OWARETE TOPPINSHAN
NUKETARA DONDOKOSHO
```

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、
次のようになります。


Lesson 2 文字の修正
... 10 ... 20 ... 30 ... 40 ... 50 ... 60 ... 70
HUKUOKA OOSAKA NAGOYA NIIGATA


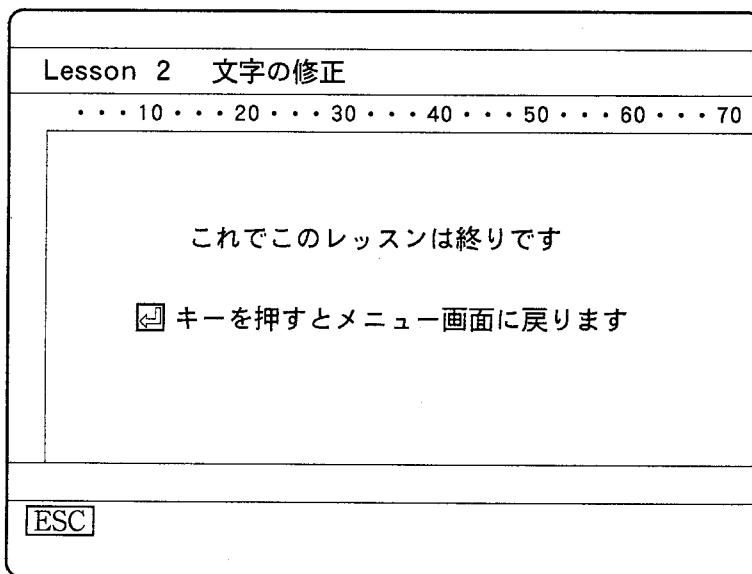
同じように、画面に表示されている例文を入力して下さい。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

メモ


HUKUOKA OOSAKA NAGOYA NIIGATA
YOKOHAMA HIROSHIMA KAGOSHIMA
SAPPORO KYOUTO SENDAI KOUCHI
HONGKONG NEWYORK HAWAII LONDON
TAMANIHA SHIRANAI TOCHIHE IKOUKANA

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は次のようになります。



これで、Lesson 2は終了です。

メニュー画面に戻りましょう。

 キーを押して下さい。

3. Lesson 3 (文字入力の練習 (ひらがな))

このレッスンでは、ひらがなを入力する練習と漢字変換の練習を行います。

練習を始める前に、このレッスンで使用するキーボードやキーの説明とレッスンの進め方の説明をします。

(1) Lesson 3で学習するキー

このレッスンでは、簡易型キーボード#2 (標準キーボードも使用可) を使用しますので、接続して下さい。

また、このレッスンで学習する主なキーは、次のとおりです。

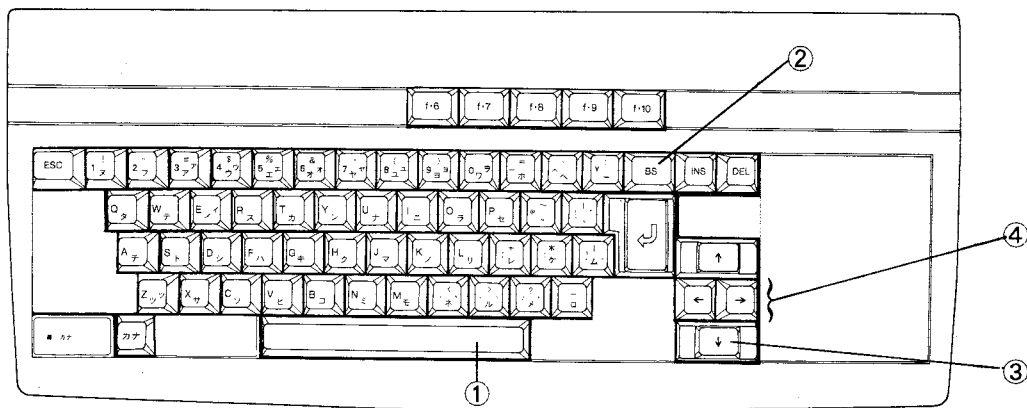







図3-3 Lesson 3で学習するキー

- ① スペースキー ()
空白文字を入力したり、入力した文字を漢字に変換するときに使います。
- ② バックスペースキー ()
カーソルの前の文字を消します。
漢字に変換して確定していない場合、このキーで漢字からひらがなに戻ります。
- ③ カーソル移動キー ()
漢字に変換された、一文節ごとの確定に使います。
- ④ カーソル移動キー ( )
漢字に変換された文節の区切りが思ったように区切れていないときに使います。

(2) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。



① 説明文を読む

画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

② 文字を入力する

入力練習する画面では、例文が表示されますので指示に従ってその例文を入力します。

③ 次の画面に進む

次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。




(3) キー入力練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、簡易型キーボード#2がセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終了	プログラムの終了

  キーを押すと上下に移動します。  キーで決定します。

メニュー選択画面より Lesson 3 を選択して下さい。


メモ

◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。

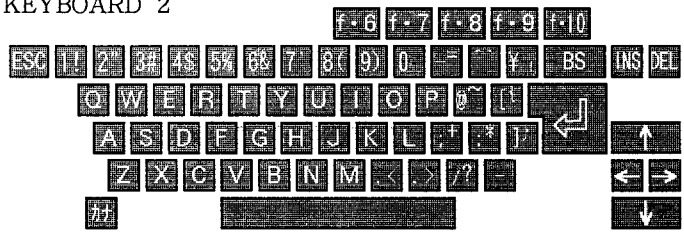
画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

このレッスンではひらがなを入力する練習をします。
ひらがなの入力にはローマ字で入力する方法と、かなで入力する
方法の2通りがあります。
ここでは、覚えるキーが少なくすむ、ローマ字入力の練習を
しましょう。
★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




画面の説明文を読み終わりましたら次の画面に進みま
しょう。

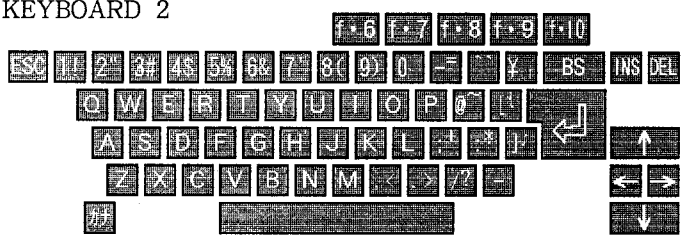
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

ローマ字でひらがなを入力する時は、下の例のようにローマ
字で入力します。
KYOUHA YOI TENKIDESUNE
→ きょうは よい てんきですね。
★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みま
しょう。

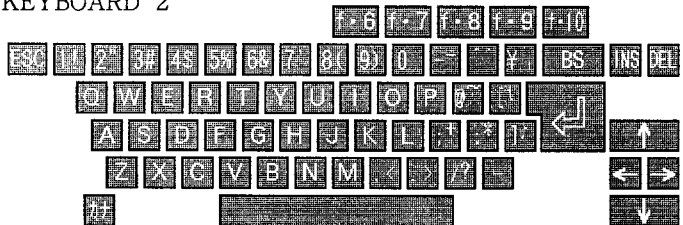
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)


それでは、実際にひらがなを入力してみましょう。
「きのうなごやにいきました。」と入力してみます。
下の段にローマ字を表示しているので、参考にして下さい。
画面の右下を見て下さい。「あ連R漢」と表示されています。
この表示が出ている時は、ひらがなを入力できます。
★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




あ連R漢


説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

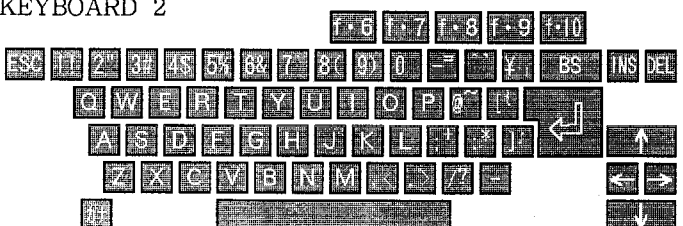
画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

まずは「きのう」と入力して下さい。黄色い文字で表示されます。間違えて入力した場合は、BSキーか DELキーを使って文字を消して入力し直して下さい。
文字を入力し終わったら、 キーを押して下さい。
例文→きのうなごやにいきました。


K I N O U 

KEYBOARD 2



あ連R漢

説明文を読み、「きのう」と入力して下さい。
例文の入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。


メモ

◆「あ連R漢」の表示の他、使われている日本語によって「連ローマ字漢字」や「連R漢字」など表示が異なります。


画面は、次のようになります。

メモ

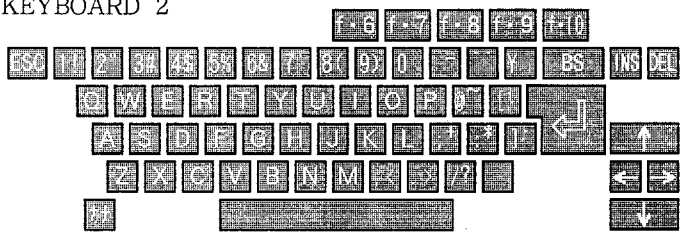
Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

はい、結構です。
次は「なごやに」と入力して下さい。
文字を入力し終わったら、キーを押して下さい。

例文→きのうなごやにきました。
きのう

N A G O Y A N I 


KEYBOARD 2



あ連R漢



説明文を読み、「なごやに」と入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。



キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

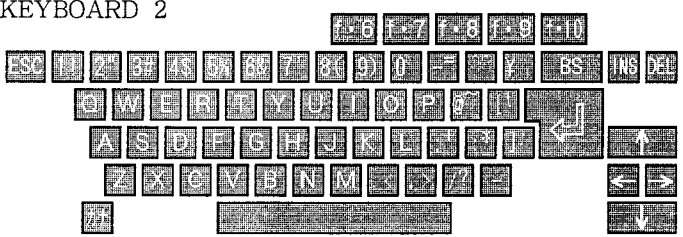
Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

次は「いきました。」と入力して下さい。
「。」は キーを押して入力します。
文字を入力し終わったら、キーを押して下さい。

例文→きのうなごやにきました。
きのうなごやに

I K I M A S I T A .  


KEYBOARD 2



あ連R漢


説明文を読み、例文の最後の文字「いきました。」を入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

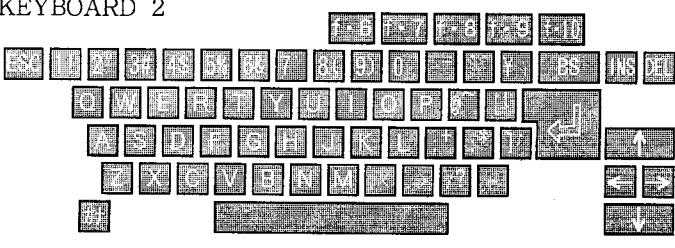
キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)


はい、結構です。
 次は「がっこうへ、いった。」と入力してみましょう。
 「っ」と入力するときは、後ろに子音を2つ続けて入力してください。「がっこう」の場合は、「っ」の後は「こ」ですね。
 「こ」は「KO」と入力しますから、「KKO」と入力すると「っこ」と入力されます。
 ★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




あ連R漢

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

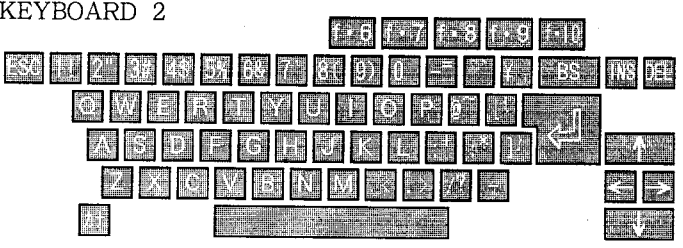
Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

それでは、「がっこうへ、」と入力して下さい。
 「、」は「<」キーを押して入力します。
 文字を入力し終わったら、キーを押して下さい。

 例文→がっこうへ、いった。

 GAKKOUHE<<


KEYBOARD 2



あ連R漢

説明文を読み、「がっこうへ、」と入力して下さい。


入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。



画面は、次のようになります。

メモ

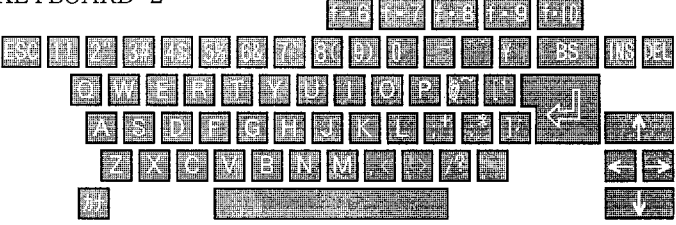
Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

それでは、「いった。」と入力して下さい。
「っ」の後は「た」なので、「TTA」と入力します。
文字を入力し終わったら、キーを押して下さい。

例文→がっこうへ、いった。
がっこうへ

ITTA  


KEYBOARD 2



あ連R漢

説明文を読み、例文の続き「いった。」と入力して下さい。


入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

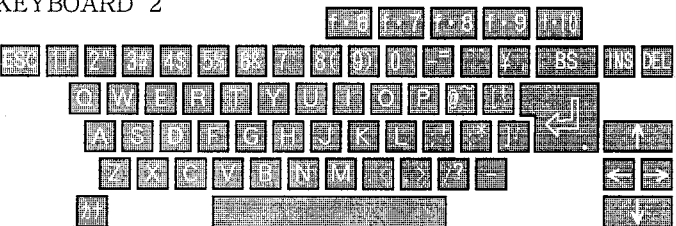
画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

はい、結構です。
次は、「私は、北海道へ行った。」と入力してみましょう。
漢字を入力する時は、最初にひらがなで入力してからスペース
キーを押します。

★  キーを押すと次のページに進みます。


KEYBOARD 2



あ連R漢


◆ここでは、漢字変換の方法を覚えましょう。

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。



 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

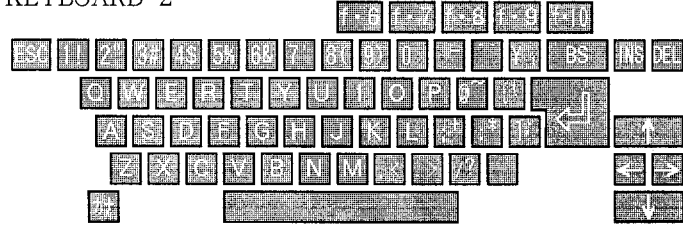
Lesson 3 文字入力の練習（ひらがな）

まず、ひらがなで「わたしは、」と入力して下さい。
 入力したら、スペースキーを押して漢字に変換して下さい。
 「私は、」と変換できたら、キーを押して下さい。

例文→私は、北海道へ行った。

W A T A S I H A  


KEYBOARD 2



あ連R漢


説明文を読み、例文を入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。



 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

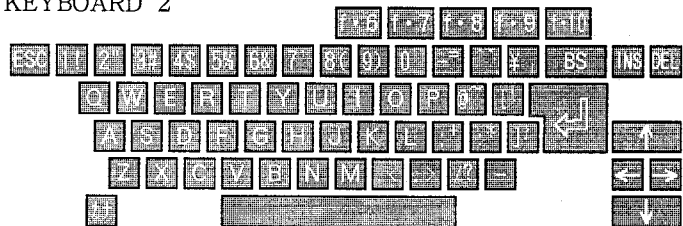
Lesson 3 文字入力の練習（ひらがな）

次は「ほっかいどうへ」と入力して、スペースキーで漢字に変換して下さい。
 文字を入力し終えたら、キーを押して下さい。

例文→私は、北海道へ行った。
 私は、

H O K K A I D O U H E  


KEYBOARD 2



あ連R漢


説明文を読み、例文の続きを入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

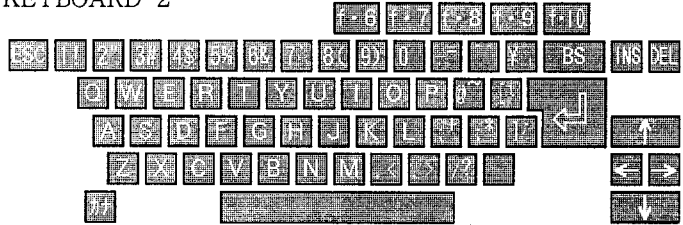
Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

次は「いった。」と入力して、スペースキーで漢字に変換して下さい。
文字を入力し終わったら、キーを押して下さい。


例文→私は、北海道へ行った。
私は、北海道へ

I T T A < 

KEYBOARD 2






あ連R漢

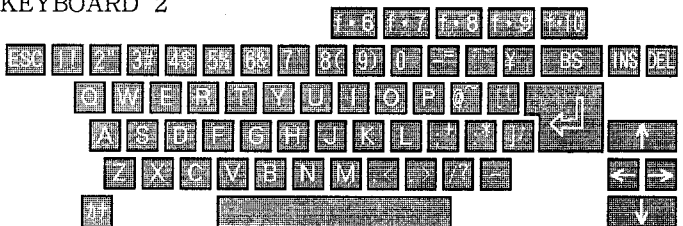
説明文を読み、例文の続きを入力して下さい。
入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。
キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

はい、大変結構です。
文字を入力するときは黄色で表示されますが、キーを押すと白色に変わりますね。
文字が黄色で表示されている間は、漢字やかたかなに変換できます。一度 キーを押して確定 (文字が白色になる) すると漢字などへの変換ができなくなります。
★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




あ連R漢

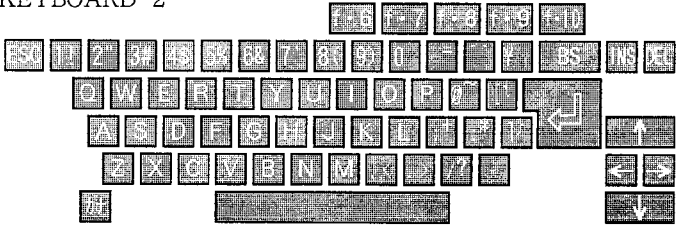
説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。
キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)


まだ変換していない (黄色い) 文字を修正するときは、BSキーか、DELキーで文字を消して打ち直します。
漢字に変換して、まだ確定はしていない状態の時 (水色で反転表示されている状態) に、文字を訂正したいときは、BSキーを押します。BSキーを押すとひらがなに戻るので、BSキーかDELキーで修正して下さい。
★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




あ連R漢

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

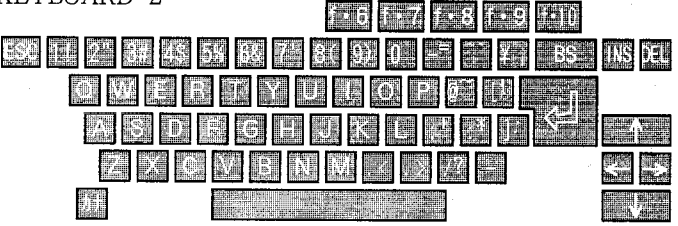
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)


さて、今「恒星」と入力するとします。
「こうせい」とひらがなで入力して、スペースキーで漢字に変換しますが、「恒星」の同音異義語はたくさんあります。スペースキーを押しても、違う漢字に変換されるかもしれません。その場合は、さらにスペースキーを押して、次候補を表示します。
★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2



あ連R漢

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

 キーを押して下さい。

メモ

◆ここでは、漢字変換して確定していない時、再度ひらがなに戻る方法を覚えましょう。

◆ここでは、*同音異義語に変換された場合の次候補の表示方法について覚えましょう。

*同音異義語…読み方が同じで意味の異なる文字のこと

画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

実際に入力してみましょう。「こうせい」と入力して、スペースキーを、次候補が画面の下に表示されるまで押して下さい。スペースキーを押すと次候補の反転表示が移動するので「恒星」を反転表示させて \leftarrow キーを押して下さい。

K O U S E I \leftarrow

KEYBOARD 2

あ連R漢

説明文を読み、例文を入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

\leftarrow キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

次候補の中から入力したい漢字を選ぶときは、反転表示を移動させて \leftarrow キーを押す、という方法の他にも、次候補の漢字の前の数字を入力しても選ぶことができます。どちらの方法で漢字を選択しても構いません。

★ \leftarrow キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2

あ連R漢

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

\leftarrow キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

次は「母は家事に追われている。」と入力しましょう。
まず、「母は」と入力して下さい。

例文 →母は家事に追われている。

母は

KEYBOARD 2

あ連R漢

入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

次は「家事に」と入力して下さい。

例文 →母は家事に追われている。
母は

母は

KEYBOARD 2

あ連R漢

例文の続きを入力して下さい。

入力が終わりましたら、 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

次は「追われている。」と入力して下さい。

例文 →母は家事に追われている。
母は家事に

OWARETEIRU > ⏎

KEYBOARD 2

あ連R漢

例文の続きを入力して下さい。

入力が終わりましたら、⏎ キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

さて、今までは文節ごとに変換・確定をしていましたが、今度は文章をいっぺんに変換してみましょう。
「きょうは、てんきがよい。」と入力して漢字に変換して下さい。

KYOUHA < TENKIGAYOI >

KEYBOARD 2

あ連R漢

◆ 「今日は、天気がよい。」
と漢字に変換しましょ
う。

説明文を読み、例文を入力して下さい。


入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

⏎ キーを押して下さい。

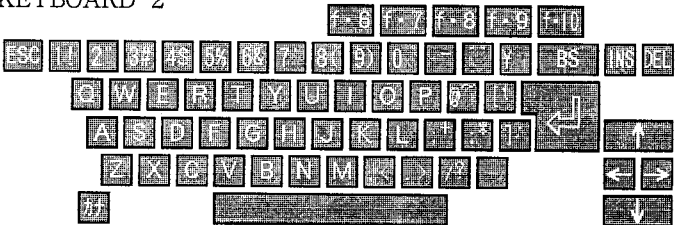
画面は、次のようになります。



Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)


変換できましたね？
一度に複数の文節を変換するとき、今の例のように一度で正しく変換できればいいのですが、文章中に違う同音異義語が入っている場合があります。
実際に入力しながら文章中の同音異義語の変換を試みましょう。
★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2




あ連R漢

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

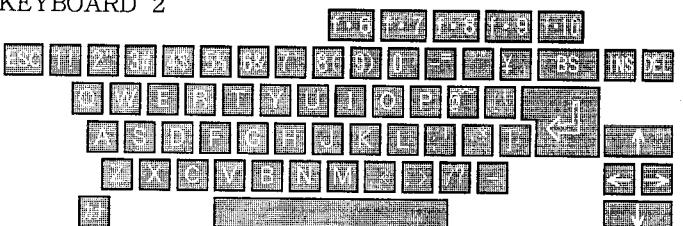
画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

「文章の校正をします。」と入力します。まず、ひらがなで全部入力してスペースキーで1度漢字に変換します。
違う漢字に変換されていたら、 キーを押して違っている漢字のところまで反転表示を移動して、スペースキーで変換し直します。直ったら、リターンキーで確定して下さい。

BUNSYOUNOKOUSEI WOSIMASU


KEYBOARD 2



あ連R漢



説明文を読み、例文を入力して下さい。


入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

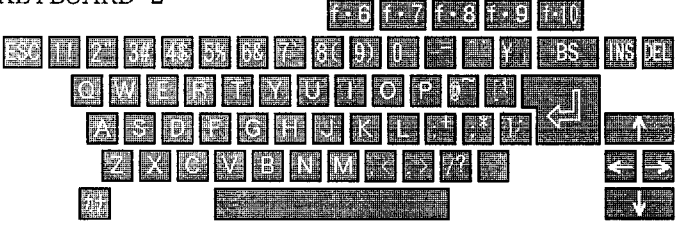
画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

はい、結構です。
 文節の区切りが思ったように区切れていないときは、キーや
キーで文節の区切りを移動させることができます。
 実際に文章を入力して変換してみましょう。

★キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2





あ連R漢

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

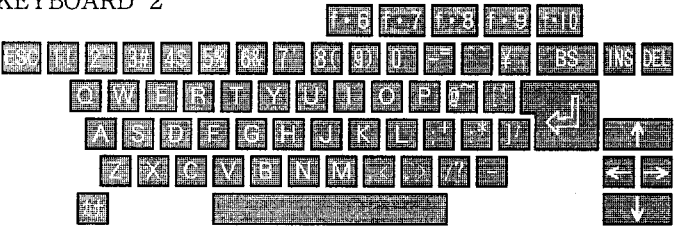
画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

「明日歯医者に行きます。」と入力します。まず、ひらがなで
 入力して1度変換して下さい。「明日は医者に」と出るので、
キーを押して「あす」で区切れるようにします。それからま
 たスペースキーで変換して下さい。
 正しく変換されたら、キーで確定して下さい。

A|S|U|H|A|I|S|Y|A|N|I|I|K|I|M|A|S|U|>


KEYBOARD 2



あ連R漢

説明文を読み、例文を入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

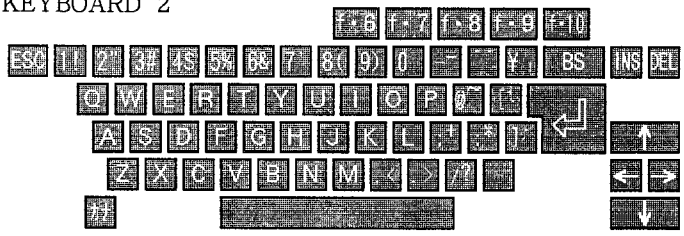
メモ

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

はい、結構です。
次は「すばらしい公演だった。」と入力して下さい。
この例題も1度ひらがなで最後まで入力してから変換して下さい。

SUBARASHIIKOUENDATTA.>


KEYBOARD 2



あ連R漢


説明文を読み、例文を入力して下さい。

入力が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

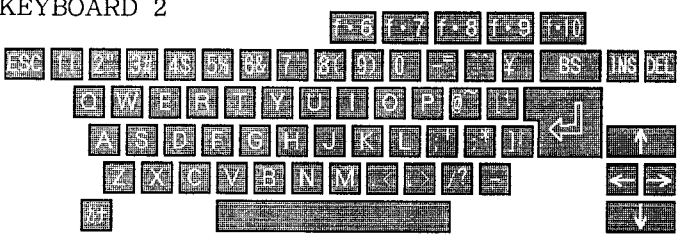
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)

はい、結構です。
それでは入力練習を行います。
 キーを押して下さい。

KEYBOARD 2



あ連R漢

 キーを押して、次の画面に進みましょう。

画面は、次のようになります。



Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)
・・・ 10・・・ 20・・・ 30・・・ 40・・・ 50・・・ 60・・・ 70
それでは表示された例文を入力して下さい。 1行入力したらリターンキーを押して下さい。次の行に移ります。 1文字空白をあける時は、入力中の文字をリターンキーを押して確定してから、スペースキーを押して空白を挿入して下さい。文字が黄色い時にスペースキーを押すと漢字に変換してしまいます。
あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの
ESC

説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

1行入力が終わりましたら キーを押して下さい。
次の行に、新しい例文が表示されます。

この画面で表示される例文は次のとおりです。

あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの
はひふへほ まみむめも や ゆ よ らりるれろ わ を ん
なまむぎ なまごめ なまたまご


例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)
・・・ 10・・・ 20・・・ 30・・・ 40・・・ 50・・・ 60・・・ 70
暑中お見舞い申し上げます。
ESC

同じように、画面に表示されている例文を入力して下さい。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

暑中お見舞い申し上げます。
 平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。
 おかげさまで業務もきわめて順調で、社内一同、心から感謝いたしております。このうえとも、いっそうのご尽力を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。


Lesson 3 文字入力の練習 (ひらがな)
・・・ 10・・・ 20・・・ 30・・・ 40・・・ 50・・・ 60・・・ 70
請求書の文章で最も多いのは、売買に対する金銭請求です。
ESC



同じように、画面に表示されている例文を入力して下さい。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

メモ


請求の文章で最も多いのは、売買に対する金銭請求です。
この場合、帳票の請求書だけを送付しても十分に用件は達せませんが、
お買い上げに感謝するという文面の書状を添えるなら、支払う側も気分よく支払えるというものです。
くどくどした感謝の言葉は必要ありませんが、丁寧な文章が必要です。

例文の入力が終わり、キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 3 文字入力練習 (ひらがな)
・・・ 10 ・・・ 20 ・・・ 30 ・・・ 40 ・・・ 50 ・・・ 60 ・・・ 70
これでこのレッスンは終了です
 キーを押すとメニュー画面に戻ります


これで、Lesson 3は終了です。

メニュー画面に戻しましょう。

キーを押して下さい。

4. Lesson 4 (ファンクションキーの使い方)

このレッスンでは、ファンクションキーを使って、入力した文字をカタカナやアルファベットに変更したり、半角にしたりする練習を行います。

練習を始める前に、このレッスンで使用するキーボードやキーの説明とレッスンの進め方の説明をします。

(1) Lesson 4で学習するキー

このレッスンでは、簡易型キーボード#2(標準キーボードも使用可)を使用します。

また、このレッスンで学習する主なキーは、次のとおりです。

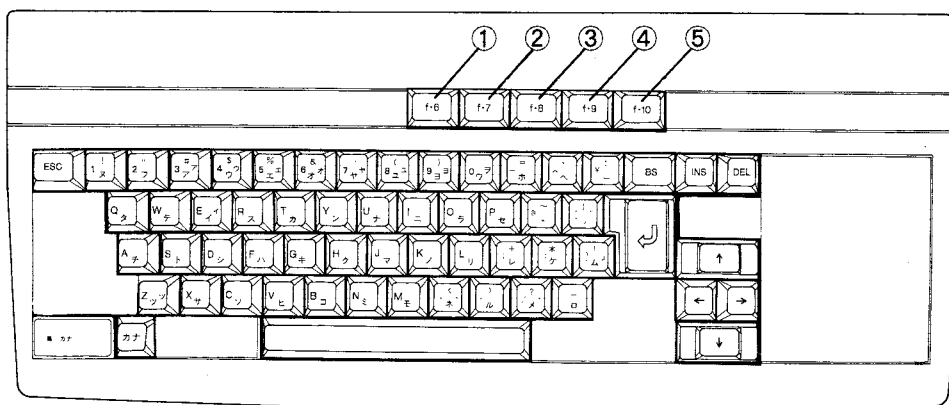


図3-4 Lesson 4で学習するキー

- ① ファンクションキー6 (**f・6**)
ひらがなに変換するときに使います。
- ② ファンクションキー7 (**f・7**)
カタカナに変換するときに使います。
- ③ ファンクションキー8 (**f・8**)
半角に変換するときに使います。
- ④ ファンクションキー9 (**f・9**)
アルファベットに変換するときに使います。
- ⑤ ファンクションキー10 (**f・10**)
入力モードを切り換えるときに使います。

(2) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。



① 説明文を読む

画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

② 文字を入力する

入力練習する画面では、例文が表示されますので指示に従ってその例文を入力します。

③ 次の画面に進む

次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。




(3) キー入力練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、簡易型キーボード#2がセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終了	プログラムの終了

  キーを押すと上下に移動します。  キーで決定します。

メニュー選択画面より Lesson 4 を選択して下さい。

メモ

◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。


◆Lesson3から引き続きこのレッスンに進んだ場合は起動の必要はありません。

画面は、次のようになります。

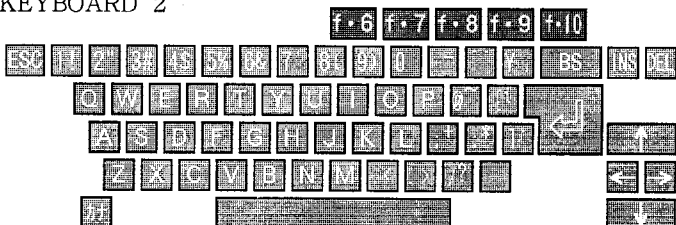
メモ

Lesson 4 ファンクションキーの使い方


このレッスンでは、ファンクションキー（f・6～f・10）を使って、入力した文字をカタカナ、アルファベットに変換する練習を行ないます。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2






画面の説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

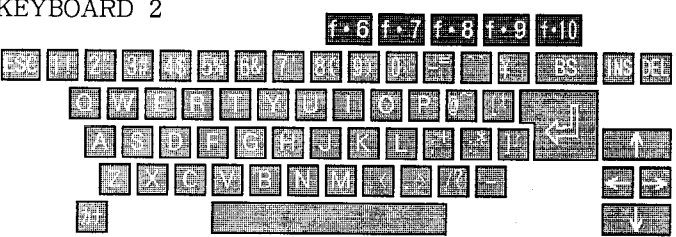
画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方


画面右下の表示は「あ連R漢」となっています。
この状態では、ひらがな・漢字が入力できますね。
ひらがな・漢字を入力するときは、最後に  キーを押しました。
さて、 キーを押す前、まだ確定していない状態の時に **f・7** キーを押すとどうなるでしょうか？


★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2



あ連R漢

説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みます。
次の画面には、文字を入力し確定していない状態の時に  キーを押した時の変換の様子が表示されますので、画面をよく見てみましょう。

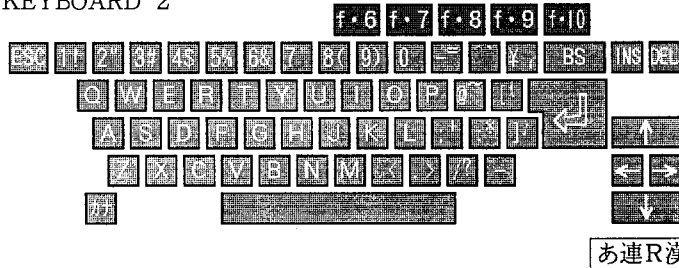
 キーを押して下さい。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

画面右下の表示は「あ連R漢」となっています。
この状態では、ひらがな・漢字が入力できますね。
ひらがな・漢字を入力するときは、最後に \leftarrow キーを押しました。
さて、 \leftarrow キーを押す前、まだ確定していない状態の時にf・7
キーを押すとどうなるでしょうか？

→ さくら
 \leftarrow

KEYBOARD 2



f・7 キーの機能について理解できましたら次の画面に進みましょう。

\leftarrow キーを押して下さい。

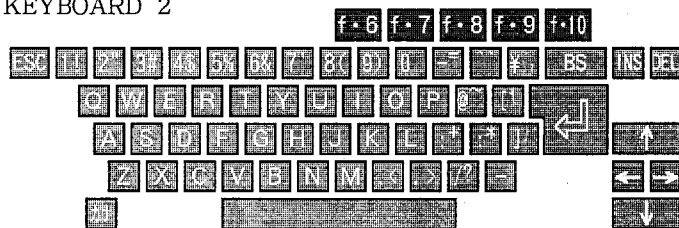
画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

ごらんのように、f・7 キーを押すとカタカナに変換されます。
ただし、一度 \leftarrow キーを押してひらがな・漢字で確定してしまう
とf・7 キーを押してもカタカナにかえられません。
さて、文字のほうはカタカナになりましたが、また \leftarrow キーを押
して確定していませんね。

→ サクラ
★ \leftarrow キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

\leftarrow キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 4 ファンクションキーの使い方

今度はこのままの状態では **f・9** を押すとどうなるでしょうか。

→ サクラ

★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2

次の画面には **f・9** キーを押した時の変換の様子が表示されますので、画面をよく見てみましょう。

キーを押して下さい。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

今度はこのままの状態では **f・9** を押すとどうなるでしょうか。
アルファベットになりましたね。
ここで キーを押せばアルファベットで確定されますが、確定する前 **f・6** キーを押してみましょう。

→ sakura

★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2

◆ここでは、**f・9** キーの機能を覚えましょう。

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には **f・6** キーを押した時の変換の様子が表示されますので、画面をよく見てみましょう。

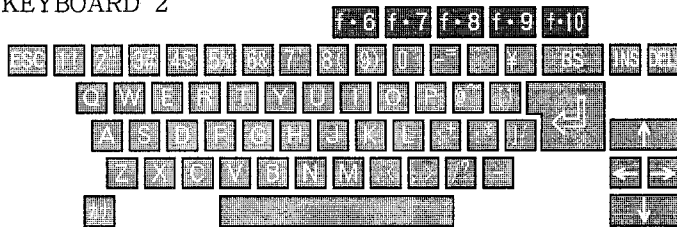
キーを押して下さい。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

今度はこのままの状態では **f・9** を押すとどうなるでしょうか。
 アルファベットになりましたね。
 ここで **←** キーを押せばアルファベットで確定されますが、確定する前 **f・6** キーを押してみましょう。

→ さくら
 ★ **←** キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2



f・6 キーの機能を理解できましたら次の画面に進みましょう。

← キーを押して下さい。

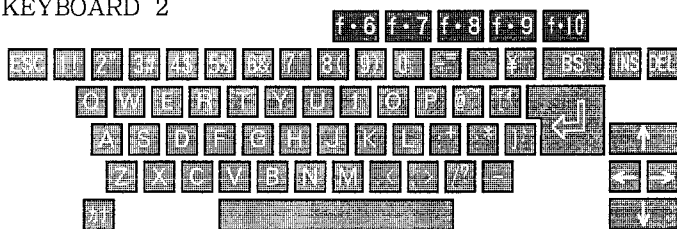
画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

ひらがなに戻りましたね。
 それでは、ここでファンクションキーの役割について復習しておきましょう。

→ さくら
 ★ **←** キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2





説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

← キーを押して下さい。


◆ここでは、**f・6** キーの機能を覚えましょう。




画面は、次のようになります。


Lesson 4 ファンクションキーの使い方

ひらがなを入力してまだ  キーを押していない（確定していない）状態の時、
 f・7 キーを1回押す → カタカナに変換
 f・9 キーを1回押す → アルファベットに変換
 f・6 キーを1回押す → ひらがなに戻る
 次は実際に変換する練習をしてみましょう。
 ★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2





 キー、 キー、 キーの機能について理解できましたら次の画面に進みましょう。

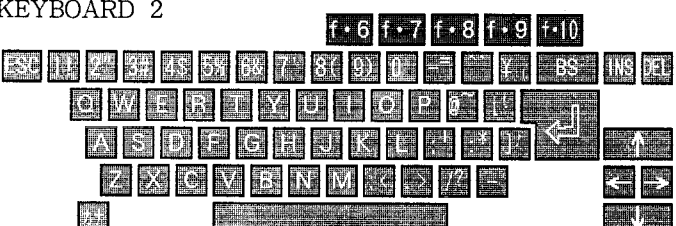
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 4 ファンクションキーの使い方

それでは、「くりすます」とひらがなで入力し、 キーでカタカナに変換して下さい。
 変換したら、 キーを押して確定して下さい。

KEYBOARD 2



入力できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

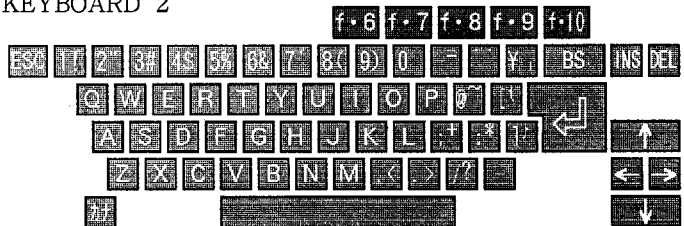
画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

はい、結構です。それでは次は「よこはま」とひらがなで入力し、**f・9**キーでアルファベットに変換して下さい。変換したら、**↵**キーを押して確定して下さい。

KEYBOARD 2



The diagram shows a standard QWERTY keyboard layout. The function keys f.6, f.7, f.8, f.9, and f.10 are highlighted in black. The f.9 key is also highlighted in the text above. The keyboard includes keys for ESC, F1-F12, numeric keypad, and arrow keys.

入力できましたら、次の画面に進みましょう。

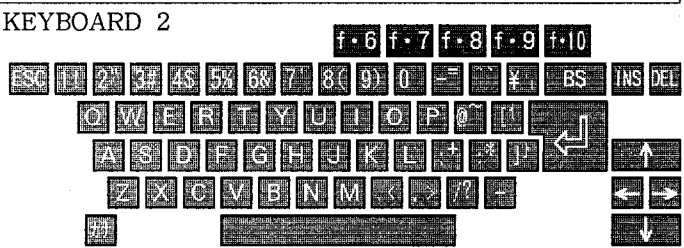
↵キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

はい、結構です。それでは次に「ながさき」とひらがなで入力し、**f・7**キーでカタカナに変換してから、**f・6**キーでひらがなに戻して下さい。ひらがなに変換したら **↵**キーを押して確定して下さい。

KEYBOARD 2

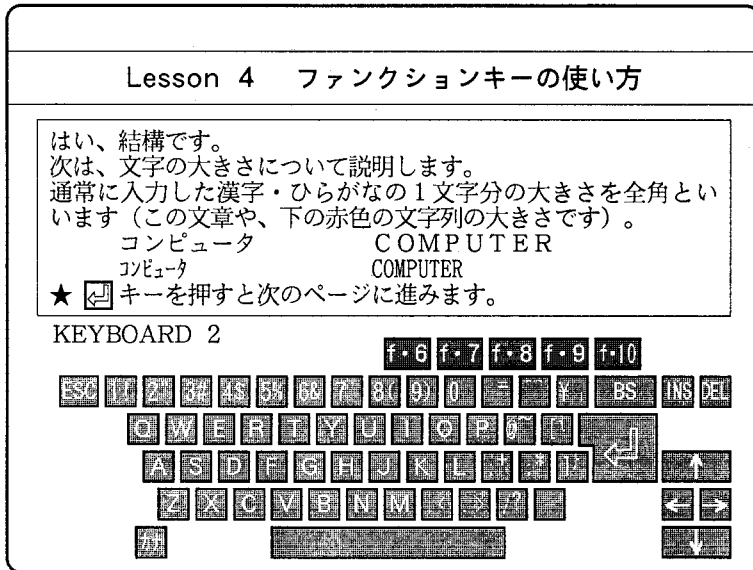


The diagram shows a standard QWERTY keyboard layout. The function keys f.6, f.7, f.8, f.9, and f.10 are highlighted in black. The f.7 and f.6 keys are also highlighted in the text above. The keyboard includes keys for ESC, F1-F12, numeric keypad, and arrow keys.

入力できましたら、次の画面に進みましょう。

↵キーを押して下さい。

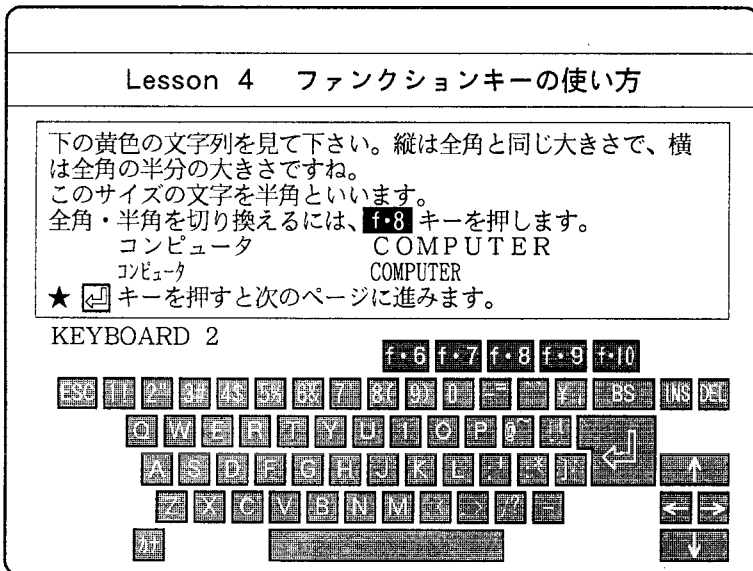
画面は、次のようになります。



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みま
しょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みま
しょう。

次の画面には全角を半角に変換する様子が表示されま
すので、画面をよく見ていきましょう。

キーを押して下さい。

メモ

◆ここでは、文字の大きさ
「全角」について理解し
ましょう。

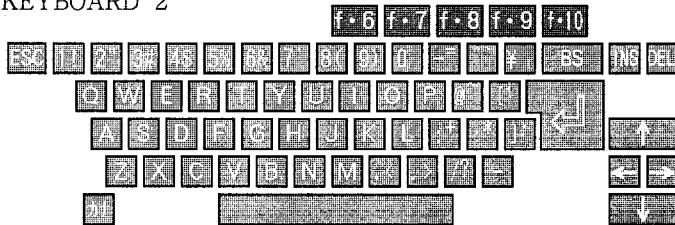
◆ここでは、文字の大きさ
「半角」について理解し、
f・8 の機能を覚えましょ
う。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

全角を半角に変えてみますので、画面を見ていて下さい。


→ さくら

KEYBOARD 2



理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には半角の文字を全角に変換する様子が表示されますので、画面をよく見ていきましょう。

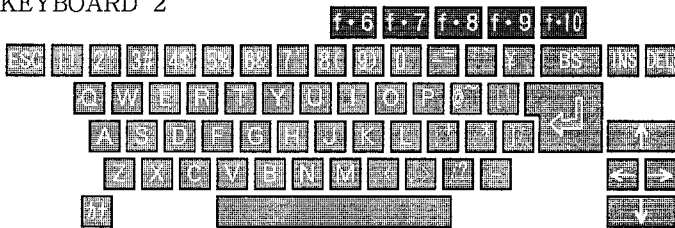
 キーを押して下さい。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方


まだ確定していない状態でもう一度 **f.8** キーを押してみます。

→ 桜

KEYBOARD 2



f.8 キーの機能を理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 4 ファンクションキーの使い方

この状態で確定したければリターンキーを押します。
とりあえず今は全角で確定しておきましょう。

→ サクラ

KEYBOARD 2

それでは、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

それでは、今までに出てきた機能を利用していろいろな文字
を入力する練習をしましょう。
では「ふりーだいやる」とひらがなで入力して、カタカナに
変換して下さい。大きさは全角で結構です。

KEYBOARD 2

入力できたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

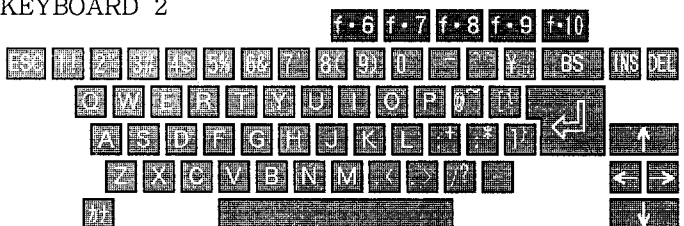
画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 4 ファンクションキーの使い方

はい、結構です。
次は、「がらすびんわれもの」と入力してカタカナで半角の文字列に変換して下さい。

KEYBOARD 2



入力できましたら、次の画面に進みましょう。

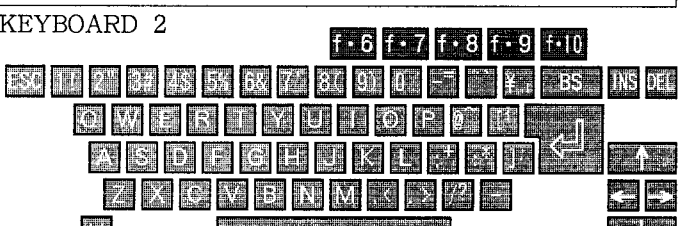
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 4 ファンクションキーの使い方

はい、結構です。
次は、「きたきゅうしゅう」と入力して「kitakyuu syuu」と変換して下さい。大きさは全角です。

KEYBOARD 2



入力できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 4 ファンクションキーの使い方

はい、結構です。
次は、「にっぽん」と入力してアルファベットに変換して下さい。大きさは半角にして下さい。

KEYBOARD 2

入力できたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方

はい、結構です。次は、「ワインのあきびん」と入力して下さい。最初に「わいん」と入力し、カタカナに変換して1度 キーで確定します。それから残りの文を入力して下さい。

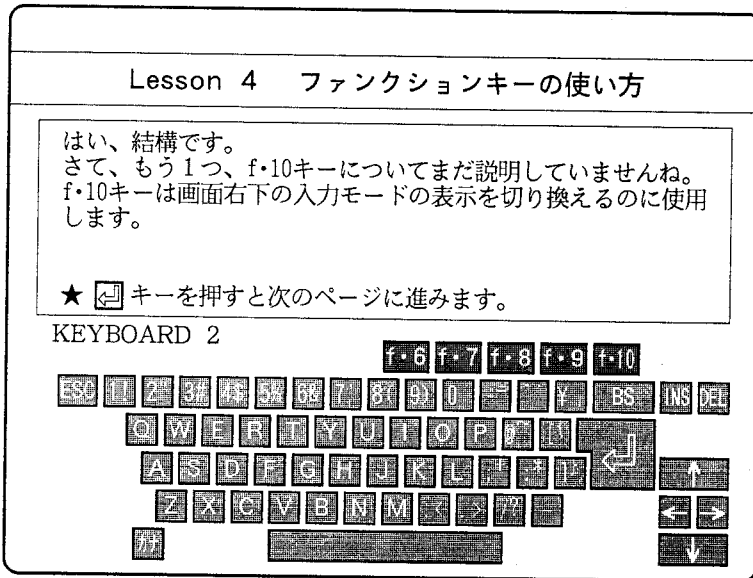
KEYBOARD 2

入力できたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

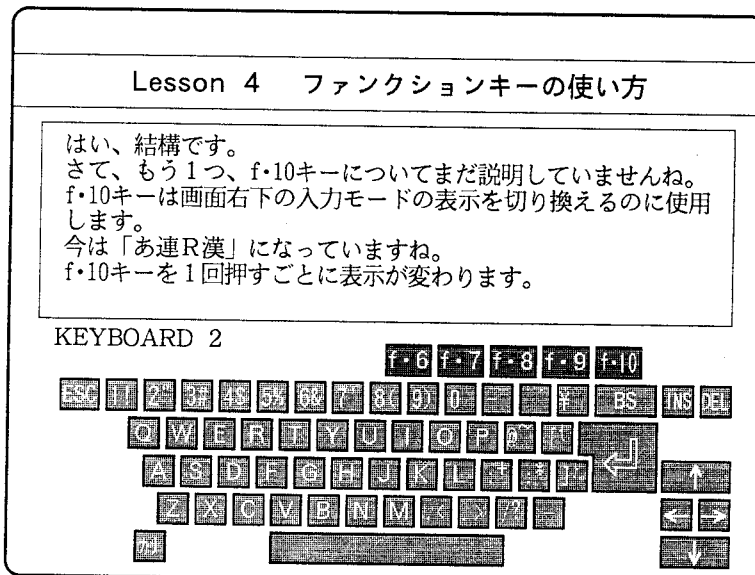
メモ



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

次の画面には **f・10** を押して入力モードの表示を切り換える様子が表示されますので、よく見てみましょう。

[Enter] キーを押して下さい。



◆ここでは、**f・10** キーの機能を覚えましょう。


説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

[Enter] キーを押して下さい。

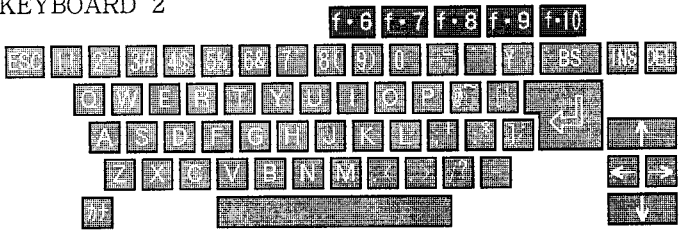
画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方


入力モードについての詳しい説明は後のレッスンで行ないますので、今は、f・10キーを押すと表示が変わることだけ覚えておいて下さい。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2



説明文を読み終わりましたら次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

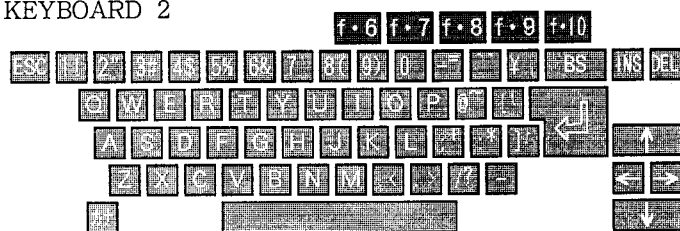
Lesson 4 ファンクションキーの使い方

★ まとめ ファンクションキーの役割 ★


- f・6 キー ひらがなに変換する
- f・7 キー カタカナに変換する
- f・8 キー 半角・全角を切り換える
- f・9 キー アルファベットに変換する
- f・10キー 入力モードを切り換える

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 2



ファンクションキーの機能について理解できましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 4 ファンクションキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
それでは、キーボード表示なしで入力練習を行います。 1行入力し終わったら、リターンキーを押して下さい。次の行に移ります。
アイデア イベント コンサルタント ストライキ
ESC

画面の説明文を読み、表示されている例文を入力して下さい。

1行入力が終わりましたら  キーを押して下さい。
次の行に新しい例文が表示されます。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

アイデア イベント コンサルタント ストライキ
カレンダー スケジュール ライフサイクル
流通コスト ビジネス文書 部分的アレンジ
ニュータウン分譲住宅 現地販売センター チェーン店募集


この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
hakodate asahikawa obihiro
ESC

同じように、表示された例文を入力して下さい。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

hakodate asahikawa obihiro
muroran wakkanai hurano nemuro
yokohama kawasaki atugi yokosuka kamakura hatiouji
タウンガイド モデルル シーサイド インターチェンジ サービスエリア パキングエリア
フロッピーディスク ハードディスク ディスプレイ キーボード

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
今アメリカでは、都市再開発の妙薬としてコンベンションセンターが
ESC

同じように、表示された例文を入力して下さい。


この画面で表示される例文は、次のとおりです。



メモ

今アメリカでは、都市再開発の妙薬としてコンベンションセンターが各地でつぎつぎに設立されている。

コンベンションとは、大会や会議や展示会を意味するが、これを見直して総合システム化しようという試みが盛んになった。


これは、サービスの視点を総合的なものへと移そうというものである。

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 4 ファンクションキーの使い方
・・・ 10・・・ 20・・・ 30・・・ 40・・・ 50・・・ 60・・・ 70
これでこのレッスンは終了です
 キーを押すとメニュー画面に戻ります


これで、Lesson 4は終了です。

メニュー画面に戻りましょう。

 キーを押して下さい。

5. Lesson 5 (機能キー・CAPSキーの使い方)

このレッスンでは、大文字・小文字の切り換えや数字の入力、コマンドメニューの使い方
の練習を行います。

練習を始める前に、このレッスンで使用するキーボードやキーの説明とレッスンの進め
方の説明をします。

(1) Lesson 5で学習するキー

このレッスンでは、簡易型キーボード#3 (標準キーボードも使用可) を使用しま
すので、接続して下さい。

また、このレッスンで学習する主なキーは、次のとおりです。

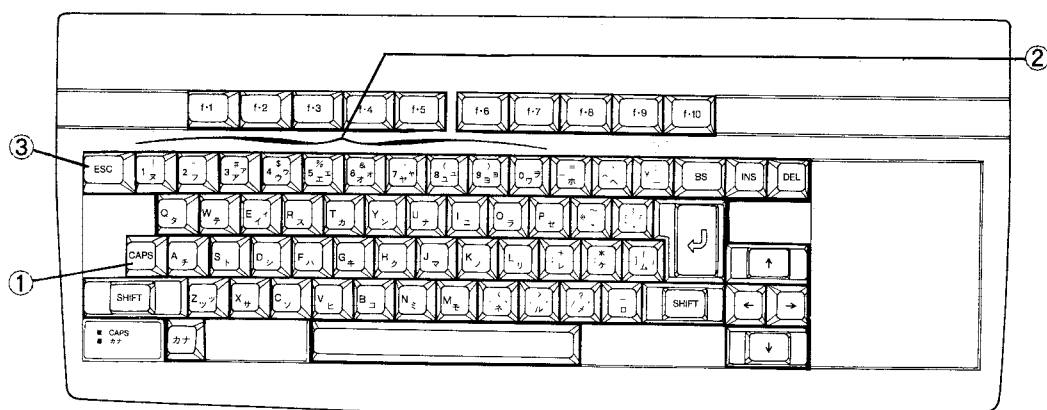


図3-5 Lesson 5で学習するキー

- ① キャプスキー (**CAPS**)
アルファベットの大文字と小文字の切り換えに使用します。
- ② 数字キー (**0** ~ **9**)
数字を入力する時に使用します。
- ③ エスケープキー (**ESC**)
コマンドメニューを呼び出す時に使用します。

(2) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。



① 説明文を読む

画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

② 文字を入力する

入力練習する画面では、例文が表示されますので指示に従ってその例文を入力します。

③ 次の画面に進む

次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。




(3) キー入力練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、簡易型キーボード#3がセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終	プログラムの終了

  キーを押すと上下に移動します。  キーで決定します。

メニュー選択画面より Lesson 5 を選択して下さい。

メモ


◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。

画面は、次のようになります。

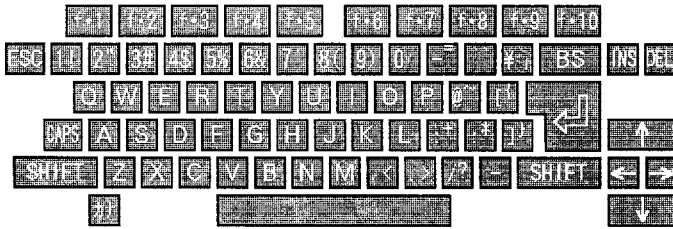
メモ

Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方


このレッスンでは、前半はCAPSキーを使った練習、数字を入力する練習、後半はコマンドメニューの使い方と、ファイル管理について学習します。
まずはCAPSキーについて説明しましょう。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 3




画面の説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

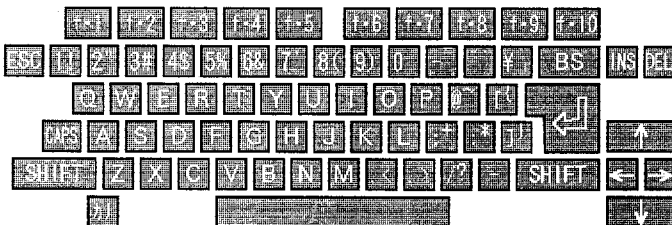
 キーを押して下さい。


画面は、次のようになります。


Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方


キーボードの左側にCAPSキーがありますね。
このキーはアルファベットの大文字と小文字を切り換える時に使います。
ためしにあなたのキーボードのCAPSキーを何回か押してみてください。キーボードの左上か左下にCAPSのランプがあります。そのランプがついたり消えたりするはずです。
★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 3



 キーを押してみて、ランプがついたり消えたりするのを確認できましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

◆ ここでは、 キーの位置を覚えましょう。

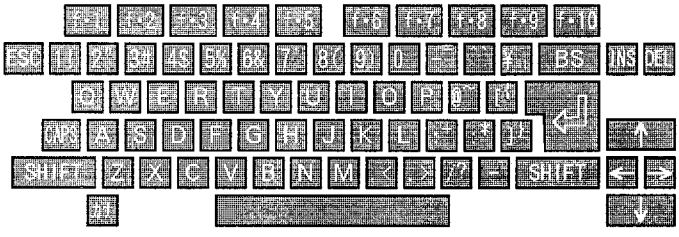
画面は、次のようになります。

Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方


このランプがついている時にアルファベットを入力すると、A B Cといった大文字が入力できます。
ランプが消えている時にアルファベットを入力すると、a b cのように小文字が入力できます。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 3




説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

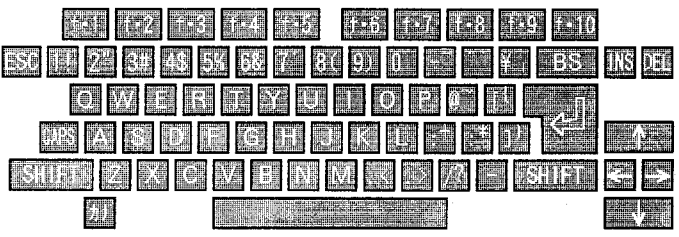
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方

実際にアルファベットを入力してみましょう。
まずCAPSキーのランプが消えているのを確認してから、takoyakiと入力して キーを押して下さい。

KEYBOARD 3



入力できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

メモ

◆ここでは、**CAPS** キー（キャップスキー）の機能を覚えましょう。

画面は、次のようになります。

Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方

小文字のアルファベットが表示されましたね。
次はCAPSキーを押してランプを点灯させてから、先程と同様に
takoyakiと入力して⏪キーを押して下さい。

KEYBOARD 3

入力できましたら、次の画面に進みましょう。

⏪キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方

今度は大文字で表示されましたね。
このようにCAPSキーのランプがついて、大文字が入力できる状態をCAPSキーをロックするといいます。
CAPSキーをロックしている場合は、ひらがなで入力してf・9キーでアルファベットに変換する時も大文字のアルファベットに変換できます。
★ ⏪キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 3

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。


⏪キーを押して下さい。


メモ

- ◆ 入力は、大文字で「TAKOYAKI」です。
注意しましょう。

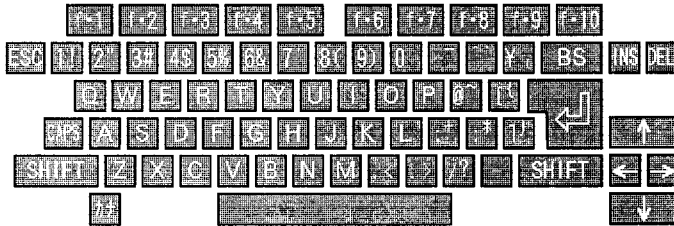
- ◆ 「ロックする」という言葉を覚えましょう。
(ロックする＝ランプが点灯している)


Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方


さて、次は数字の入力方法です。
 数字を入力する時は、キーボード上段の1～0の文字キーで入力します。入力したら、キーで確定します。
 カナキーがロックされて（カナのランプがついて）いる時は、数字が入力できません。カナキーを押して解除して下さい。

★ キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 3




キーボードの、キーのランプが消えていることを確認したら、次の画面に進みましょう。

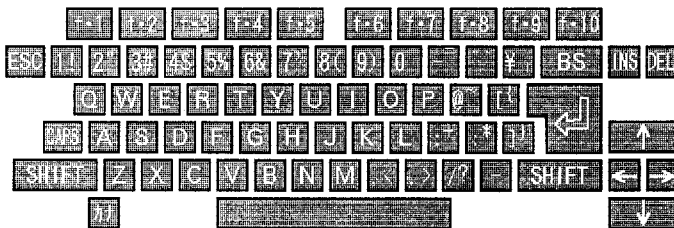
キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方

それでは実際に数字を入力してみましょう。
 1から9まで入力して下さい。
 入力したらキーを押して確定して下さい。

KEYBOARD 3




入力できましたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

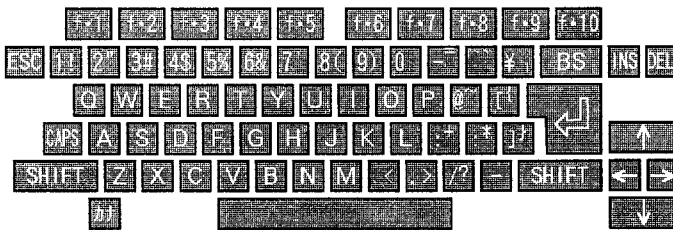
画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方

はい、結構です。
今度は半角の1から9を入力してみましょう。
入力し終えて  キーを押して確定する前に、f・8キーを押して半角にして下さい。

KEYBOARD 3




入力できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

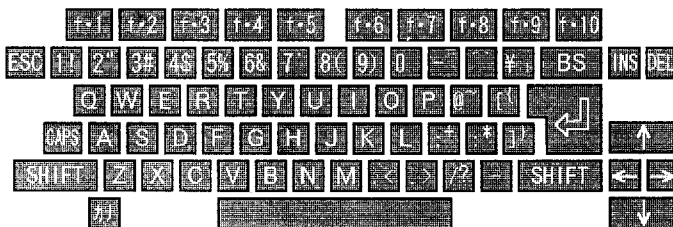
画面は、次のようになります。

Lesson 5 機能キー・CAPSキーの使い方


はい、結構です。
数字の入力の方法はよろしいですね？
それでは、次はコマンドメニューについて説明します。

★  キーを押すと次のページに進みます。

KEYBOARD 3



それでは、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

それでは、キーボード左上の **ESC** キーを押してみてください。

画面の下の方に、新しくメニュー画面が表示されましたね。
この画面をコマンドメニューといいます。
コマンドメニューを消して文字入力画面に戻るには、もう1度 **ESC** キーを押します。

ESC キーをもう1度押して、コマンドメニューの画面を消して下さい。

ESC

ESC キーを押してコマンドメニューが表示されるのを確認し、もう一度 **ESC** キーを押すと、画面は次のようになります。

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

メニューが消えましたね？
表示されているコマンドメニューを消すには、もう1つ方法があります。
もう1度 **ESC** キーを押して、コマンドメニューを表示して下さい。
「A・入力」が反転表示されていますね。
「A・入力」が反転表示されている状態で **↵** キーを押すか、**A** キーを押すと、
コマンドメニューが消えます。
↵ キーか、**A** キーを押して、コマンドメニューを終了して下さい。

ESC

ESC キーを押しコマンドメニューを表示し、**↵** キーか **A** キーを押すと、画面は次のようになります。

◆ここでは、**ESC** キー（エスケープキー）の位置と機能を覚えましょう。

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

はい、結構です。


それでは、このメニューの他の機能も使ってみましょう。

一太郎などのワープロソフトでは、作成した文章をそのままにして一太郎を終了すると、文章は消えてしまいます。


しかし、フロッピーディスクに残しておく、画面から消えても、再度画面上に呼び出すことができます。

このように文章を残しておくことを保存するといいます。

それでは、文章を保存する練習をしてみましょう。

 キーを押して下さい。次のページに進みます。

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方


・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

まず、ESCキーを押してコマンドメニューを開いて下さい。

文書を保存する時は、文書に名前（ファイル名）をつけます。

とりあえず、今表示されているこの画面を「SETUMEI」というファイル名で保存してみましょう。

 キーを押して「T・ファイル」を反転させて、 キーを押して下さい。

 キーを押しコマンドメニューの中から「T・ファイル」を選択すると、画面は次のようになります。

◆ここでは、文書の保存方法を覚えましょう。

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

今度は「S・保存」を反転表示させて \leftarrow キーを押して下さい。

\leftarrow 読入 S・保存

ESC

\rightarrow キーを使って「S・保存」を選択し、 \leftarrow キーを押すと、画面は、次のようになります。

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

ファイル名入力画面が表示されましたね。
カナキーがロックされている場合には、カナキーを押してロックを解除します。
「A:¥」の後ろにカーソルがありますね。¥マークの後ろに続けて、「SETUMEI」と入力して下さい。
入力をまちがえた場合は、BSキーで削除して入力し直します。
ただし、A:¥はどこにファイルを保存するかを示す記号ですから、消さないで下さい。
ファイル名を入力したら、 \leftarrow キーを押して下さい。
保存が開始されます。

ファイル名 A:¥


ESC T・ファイル S・保存

保存が終了すると、画面は次のようになります。

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方


・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

このように、保存が終了すると入力画面に戻ります。
 ファイル名には自動的に .JAW が付きます。
 アルファベットの小文字でつけたファイル名も大文字として処理されます。
 これで、画面上の文書が「SETUME1」という名前でフロッピーディスクに保存されました。

 キーを押すと次のページに進みます。




説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

さて、もう1度 ESCキーでコマンドメニューを表示させてみて下さい。
 もう1つ、「Q・終了」というコマンドがありますね。
 このコマンドを選択すると、今行なっている練習を終了してメニュー画面に戻ります。
 これから練習を進めていく途中で、レッスンを中断したい場合は、このコマンドメニューを利用して下さい。
 それでは、入力の練習を行ないます。
 ★  キーを押すと次のページに進みます。



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

◆ここから、レッスンの中断方法が少し変わります。よくわからない場合は、P13 (2) Lesson 3・4・5・6の場合に詳しい説明がありますので参照して下さい。

画面は、次のようになります。


メモ

Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
表示された例文を入力して下さい。 1行入力し終わったら、リターンキーを押して下さい。次の行に移ります。
3号館、海の動物園の人気者は、カナダから来た2頭のラッコ、
ESC

1行入力が終わりましたら  キーを押して下さい。
次の行に新しい例文が表示されます。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

3号館、海の動物園の人気者は、カナダから来た2頭のラッコ、
毎日愛くるしい仕草で愛敬をふりまいている。
シートピアステージでは、ペンギン、アシカがかわいい曲芸を披露。
ショータイムは11時、12時、13時30分。


例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。

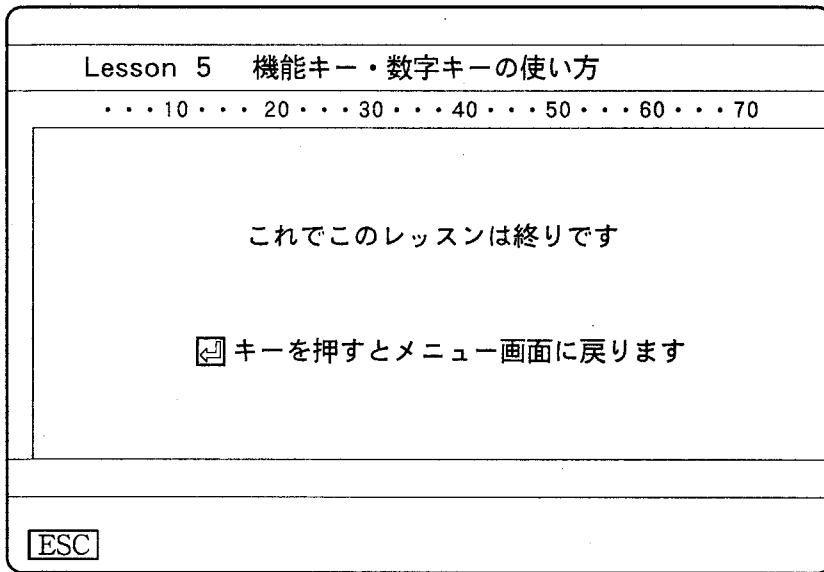
Lesson 5 機能キー・数字キーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
披露山公園は、逗子マリーナから約1 km、披露山公園バス停から
ESC

同じように、表示された例文を入力して下さい。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。


披露山公園は、逗子マリーナから約1 km、披露山公園バス停から
上るのが1番いい。頂上には猿山をはじめ小動物園があり、
展望台からは、伊豆、大島までも一望することができる。
鎌倉駅から逗子行きでバスで15分、170円、披露山入口で下車、
徒歩20分である。

例文の入力が終わり、キーを押すと画面は、次のようになります。



これで、Lesson 5は終了です。

メニュー画面に戻りましょう。

 キーを押して下さい。

6. Lesson 6 (シフトキー・カナキーの使い方)

このレッスンでは、各種記号の入力練習を行います。

練習を始める前に、このレッスンで使用するキーボードやキーの説明とレッスンの進め方の説明をします。

(1) Lesson 6で学習するキー

このレッスンでは、標準キーボードを使用しますので、接続して下さい。

また、このレッスンで学習する主なキーは、次のとおりです。

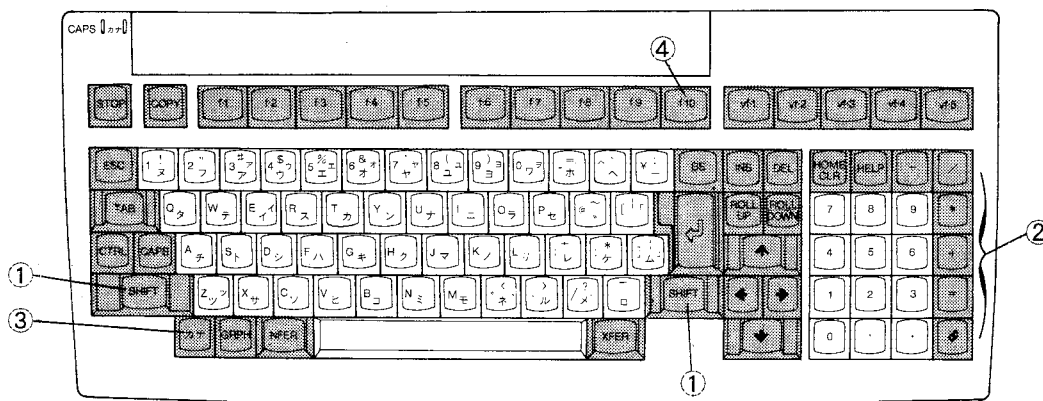


図3-6 Lesson 6で学習するキー

① シフトキー (SHIFT)

「# \$ % &」のようなキー上側の文字を入力する時に使います。

② テンキー (0 ~ 9, -, +, =, /, *) など)

数字や四則演算記号を入力する時に使います。

③ カナキー (かな)

キーの右側に書かれた文字を入力する時に、このキーをロックして使います。

④ ファンクションキー10 (F10)

入力モードを切り換える時に使います。

(2) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。



① 説明文を読む

画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

② 文字を入力する

入力練習する画面では、例文が表示されますので指示に従ってその例文を入力します。

③ 次の画面に進む

次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。




(3) キー入力練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、標準キーボードがセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終了	プログラムの終了

  キーを押すと上下に移動します。  キーで決定します。


メニュー選択画面より Lesson 6 を選択して下さい。

メモ


◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。

画面は、次のようになります。

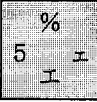
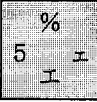
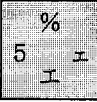

メモ


Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
さて、いよいよキー入力の練習も大詰です。 このレッスンでは、今までにまだ出てきていない各種記号の入力等を学習します。
まずは、あなたの手元のキーボードを見て下さい。 1つ1つのキーに複数の記号が書かれているキーがありますね。
★  キーを押すと次のページに進みます。
ESC

説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

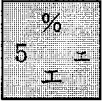


Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方		
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70		
<table border="1"><tr><td></td><td>例として、数字キーの5を見てみましょう。 左の図のように、キーに4つの文字が書かれています。 赤色で書かれた左側の「5」と上の「%」は、カナキーがロック されていない時に入力できます。</td></tr></table> <p>左側の文字「5」を入力する時は、レッスン5で学習したように、そのまま「5」のキーを押せば「5」と入力できます。</p>		例として、数字キーの5を見てみましょう。 左の図のように、キーに4つの文字が書かれています。 赤色で書かれた左側の「5」と上の「%」は、カナキーがロック されていない時に入力できます。
	例として、数字キーの5を見てみましょう。 左の図のように、キーに4つの文字が書かれています。 赤色で書かれた左側の「5」と上の「%」は、カナキーがロック されていない時に入力できます。	
★  キーを押すと次のページに進みます。		
ESC		

◆ここでは、 キーがロックされていない（カナのランプがついていない）ことを確認しましょう。


説明文を読み終わりましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。


画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方	
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70	
	上側の文字「%」を入力する時は、シフトキーを押しながら同時に「5」キーを押します。 シフトキーはキーボードの右と左にあります。どちらのキーを押しても機能は同じです。 押しやすい方にあるシフトキーを使って下さい。 たとえば「%」と入力する時は、「5」キーは左手で入力するので、シフトキーは右のキーを押した方が楽ですね。 ためしに、「%%%%」と入力して下さい。 入力したら、  キーで確定して下さい。
	


入力できたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方	
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70	
はい、結構です。 次は、「# \$ % &」と入力して下さい。 「# \$ % &」は、シフトを押しながら3、4、5、6キーを押します。	
	

入力できたら、次の画面に進みましょう。

キーを押して下さい。

メモ


◆ここでは、**SHIFT**キーの位置と機能を覚えましょう。

画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
はい、結構です。次は、「50+10=60」と入力して下さい。 数字は、そのままキーを押せば入力できます。 「+」は、シフトを押しながら「;」キーを押します。 「=」は、シフトを押しながら「-」キーを押します。
ESC


入力できたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
数字や「+」、「=」等の四則演算記号を入力する時は、キーボードの右側にある数字キーのかたまり（テンキーといいます）を使って入力することもできます。 今度はテンキーを使って今と同じように「3. 5+4. 1=7. 6」と入力して下さい。
ESC

テンキーを使って入力できたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

◆ここでは、テンキーの位置と機能を覚えましょう。

画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方

・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

はい、結構です。
さて、次は「ロバート・プラント」と入力してみましょう。
名前の間の記号「・」（中黒）を入力する時は、キーボード左下のカナキーを押して、カナのランプがついた状態（CAPSキーの時と同じです）にしておきます。
その状態（カナキーをロックする、といいます）で、シフトキーを押しながら「?/」キーを押すと「・」を入力できます。
「・」を入力し終わったら、カナキーを押して、カナキーのランプを消しておいて下さい。
それでは入力して下さい。

ESC

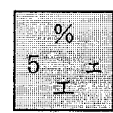

入力できましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方


・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70

 このように、キーの右側に書かれた文字（左の図の青い文字）を入力する時は、カナキーをロックします。
「5」や「%」を入力するときと同様に、右側の「エ」を入力する時はシフトを押しながら「エ」キーを押します。「エ」を入力する時は、カナキーがロックされていれば、そのまま「エ」キーを押すと入力できます。
「と」を入力する場合はカナキーをロックして、シフトを押しながら  キーを押します。
次は、他の記号の入力の方法を説明します。

★  キーを押すと次のページに進みます。



ESC

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。


画面は、次のようになります。

メモ


Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
レッスン5で f・10 キーを押すと画面右下の入力モードが変わると説明しましたね。 入力モードは f・10 キーを押す毎に、「あ連R漢」→「半角」→「コード」→「記号」→「あ連R漢」の順に変わります。 「…」 「※」などの記号を入力する場合は、f・10 記号モードにします。
★  キーを押すと次のページに進みます。


◆ここでは、**f・10** の機能を覚えましょう。

説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
それでは、「～」と入力してみましょう。 それでは、f・10 キーを押して入力モードを記号入力モードにして下さい。 画面の下に記号が表示されていますね。「～」が表示されるまで XFER キーを押して表示を切り換えます。 「～」が表示されたら、スペースキーを押して反転カーソルを「～」まで移動させて下さい。 「～」に反転カーソルを合わせたらリターンキーを押して下さい。「～」が入力されます。 以上の手順で「～」を入力して下さい。


◆ここでは、記号入力モードによる記号入力方法と、エックスファーキー (**XFER**) の位置と機能を覚えましょう。

入力できましたら、次の画面に進みましょう。


 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

メモ

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
はい、結構です。 今度は「本日の降水確率は50%です。」と入力して下さい。 「%」は、数字キー、テンキーどちらで入力しても結構です。 「。」は、「> .」キーをそのまま押せば入力できます。
ESC


入力できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
はい、結構です。 次は、「1971/01/03 am10:00」と入力して下さい。
ESC

入力できましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
はい、結構です。 それでは、入力練習を行います。 ⏪ キーを押して下さい。
ESC

それでは、次の画面に進みましょう。

⏪ キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。


Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
表示された例文を入力して下さい。 1行入力し終わったらリターンキーを押して下さい。次の行に移ります。 前略 本日（10月2日）お電話でご注文申し上げました、
ESC


1行入力が終わりましたら ⏪ キーを押して下さい。
次の行に新しい例文が表示されます。

この画面で表示される例文は、次のとおりです。

メモ

前略 本日（10月2日）お電話でご注文申し上げました、
PC-ENTRY1 OAタイプ 20台の注文書を同封送付
いたします。
つきましては、くれぐれも納入期日までに当方に着荷いたしますよう

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、
次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
よろしく願いいたします。



同じように、例文を入力して下さい。


この画面で表示される例文は、次のとおりです。

よろしくお願いいたします。

まずはとり急ぎお願いまで。 草々

社内文書では、なによりもスムーズな意思伝達が可能である文章が要求されます。そのためには主題をストレートに表現し、主題に沿わない文章はすべてカットします。

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。

Lesson 6 シフトキー・カナキーの使い方
・・・10・・・20・・・30・・・40・・・50・・・60・・・70
定例部課長会議開催について（通知）



同じように、例文を入力して下さい。

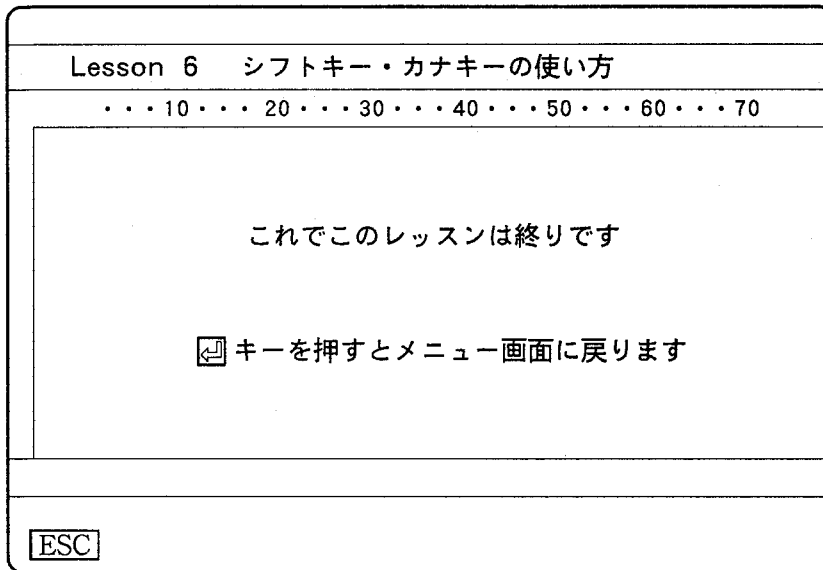
この画面で表示される例文は、次のとおりです。

定例部課長会議開催について（通知）

表題について、下記により開催いたします。よろしくご出席下さるようお願いいたします。


1. 日時 平成6年9月27日（火）午後1時から3時まで
2. 場所 本社ビル3F大会議場

この例文の入力が終わり、 キーを押すと画面は、次のようになります。



これで、Lesson 6は終了です。

メニュー画面に戻りましょう。

 キーを押して下さい。

7. マウスの練習（マウスの使い方）

このレッスンでは、マウスの使い方の練習を行います。マウスが接続されていない場合は、マウスを接続して下さい。

練習を始める前に、このレッスンの進め方について説明します。

(1) レッソンの進め方

このレッスンでは、次のようにして練習を進めます。



① 説明文を読む


画面に表示されている説明文や指示文を読みます。

② マウスを操作する


マウスを操作する画面では、指示に従って自由に練習します。

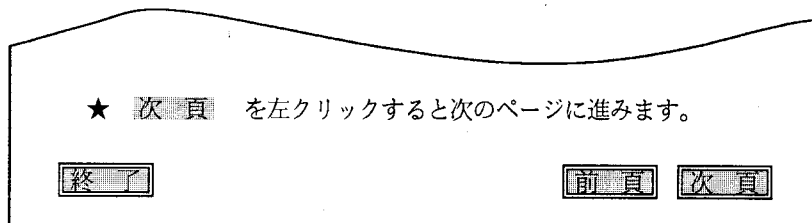
③ 次の画面に進む

次の画面に進むときは、“ キーを押すと次のページに進みます”という表示を確認して  キーを押します。

また、途中から“次 頁 を左クリックすると次のページに進みます”という表示になったときは、画面の下の  にマウスカーソルを合わせて左クリックします。

④ 前の画面に戻る

前の画面に戻るときは、画面に次のような表示が出たときに  にマウスカーソルを合わせて左クリックすると、1つ前の画面に戻ることができます。



(2) マウスの練習

それでは、レッスンを開始しましょう。

まず、標準キーボードとマウスがセットされていることを確認し、パソコンの電源を入れ「キー入力練習ソフト」を起動させて下さい。

画面は、次のようなメニュー選択画面になります。

キー入力練習プログラム	
下のメニューの中から練習したい項目を選択して下さい	
Lesson 1	文字入力の練習 (英文字)
Lesson 2	文字の修正
Lesson 3	文字入力の練習 (ひらがな)
Lesson 4	ファンクションキーの使い方
Lesson 5	機能キー・CAPS キーの使い方
Lesson 6	シフトキー・カナキーの使い方
マウスの練習	マウスの使い方
終了	プログラムの終了

↑ ↓ キーを押すと上下に移動します。 ⏎ キーで決定します。

メニュー選択画面より「マウスの練習」を選択して下さい。

画面は、次のようになります。

マウスの練習	
ここではマウスの使い方について学習します。	
画面の右側に矢印 (↘) が出ていますね。この矢印をマウスカーソルといいます。	
↘ を画面上で動かすのがマウスです。マウスはコンピュータに何をするか伝えるために使用します。	
まずマウスの持ち方を覚えましょう。	

★ ⏎ キーを押すと、次のページに進みます。

⏎ キーを押して、次の画面に進んで下さい。

メモ

◆起動方法を忘れてしまった方は、P10の2.「キー入力練習ソフト」の起動方法を見て下さい。

◆ここでは、マウスとマウスカーソルという用語を覚えましょう。

画面は、次のようになります。

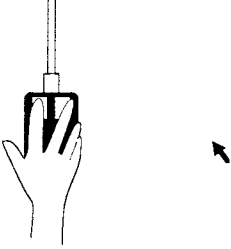
マウスの練習


マウスは平らな所に置きます。

マウスを右の図のように持って机の上で動かしてみてください。


ケーブルは操作の邪魔にならないように前方にのばしておいて下さい。

マウスを動かすと、その動きの通りに画面上のマウスカーソルも動きますね。



★  キーを押すと、次のページに進みます。

説明文を読み、実際にマウスを動かしマウスカーソルが動くのを確認したら次の画面に進みましょう。

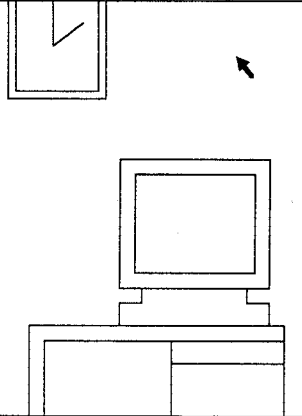
 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。

マウスの練習

それではマウスカーソルを合わせる練習をしてみましょう。


まず、右の絵の中のパソコンにカーソルを合わせて下さい。



説明文を読み、実際にマウスを動かし絵の中のパソコンにマウスカーソルを合わせてみましょう。

マウスカーソルがパソコンに合うとパソコンの色が水色になります。

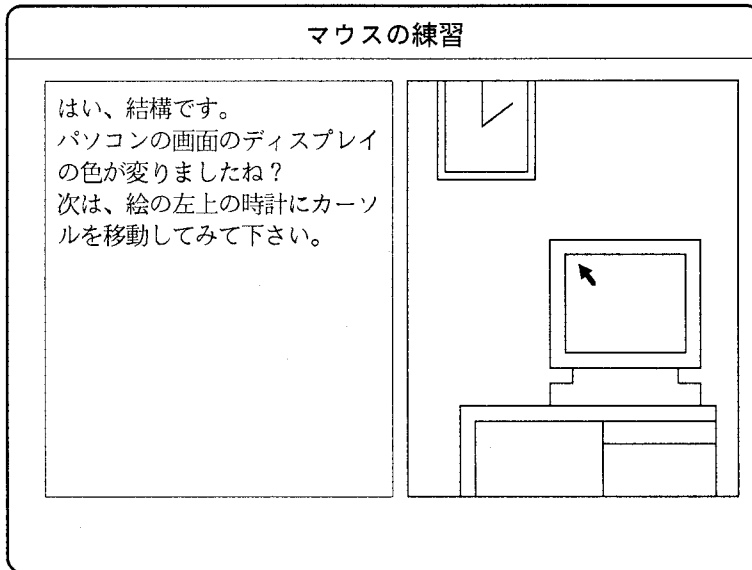
うまく出来ましたら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

メモ


◆ここでは、マウスの持ち方を覚えましょう。

画面は、次のようになります。

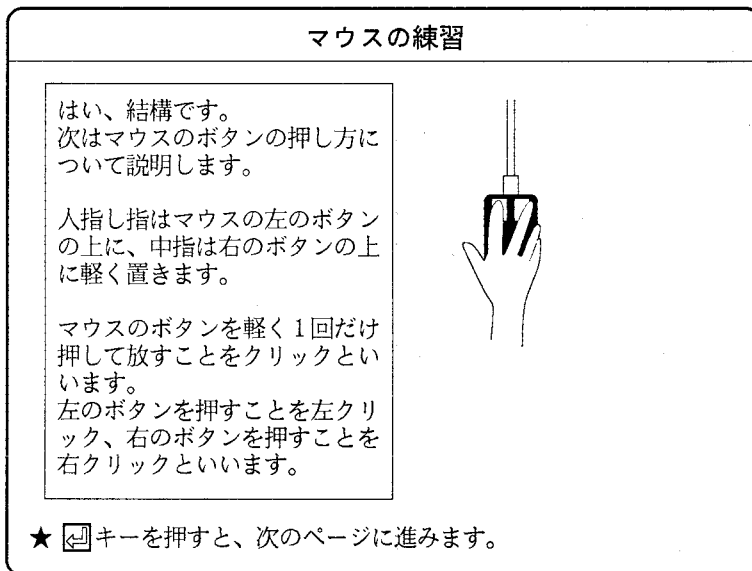


前の画面と同じように、絵の中の時計にマウスカーソルを合わせてみましょう。


うまく出来たら、次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

画面は、次のようになります。



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

メモ

◆ここでは、クリックという用語を覚えましょう。

左クリック

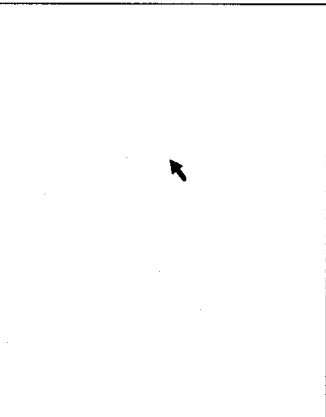
マウスの左ボタンを人差し指で軽く1回だけ押して放す


右クリック

マウスの右ボタンを中指で軽く1回だけ押して放す


画面は、次のようになります。

マウスの練習

<p>それでは、クリックの練習をしてみましょう。</p> <p>右の白い枠の中で、好きなところにマウスカーソルを移動して左クリックしてください。</p> <p>左クリックは、左のボタンを人差し指で軽く1度押します。</p> <p>いろいろなところにマウスカーソルを動かして左クリックしてみてください。</p>	
--	---

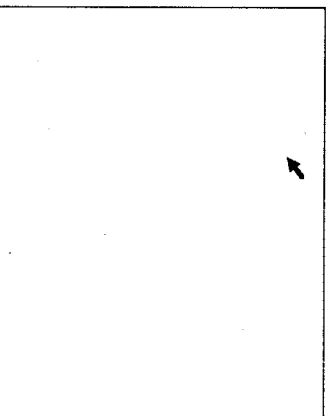
★  キーを押すと、次のページに進みます。


自由に左クリックの練習をし、終わりましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。


画面は、次のようになります。

マウスの練習

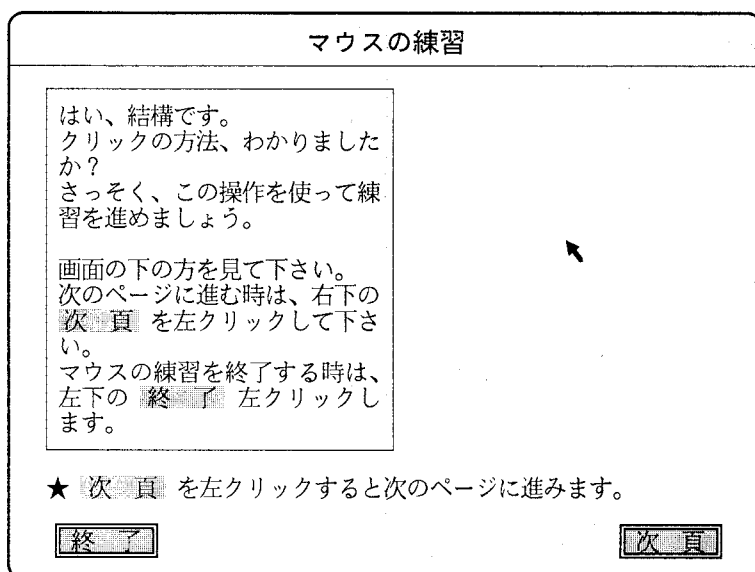
<p>今度は右クリックを練習をしましょう。</p> <p>左クリックの時と同じ様に、白い枠の中でマウスカーソルを好きなところに移動して、右クリックして下さい。</p> <p>右クリックは、右のボタンを中指で軽く1度押します。</p>	
--	---

★  キーを押すと、次のページに進みます。

自由に右クリックの練習をし、終わりましたら次の画面に進みましょう。

 キーを押して下さい。

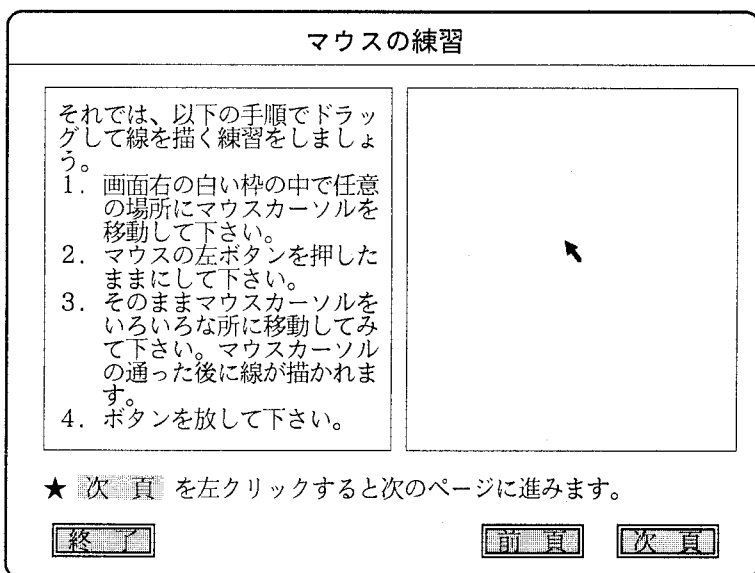
画面は、次のようになります。



説明文を読み、理解できましたら次の画面に進みましよう。

マウスで『次 頁』を左クリックして下さい。

画面は、次のようになります。



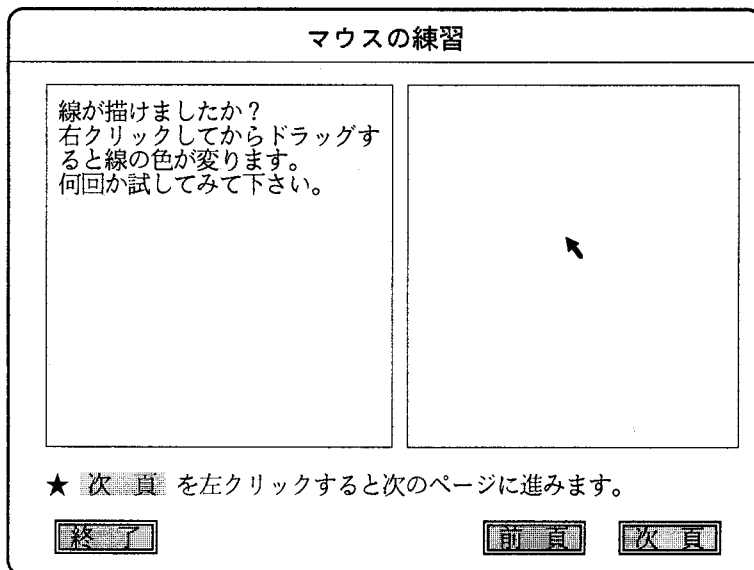
自由に練習し、終わりましたら次の画面に進みましよう。

マウスで『次 頁』を左クリックして下さい。

メモ

◆ここからは、終了方法や次の画面への進み方が今までと違いますので注意しましょう。

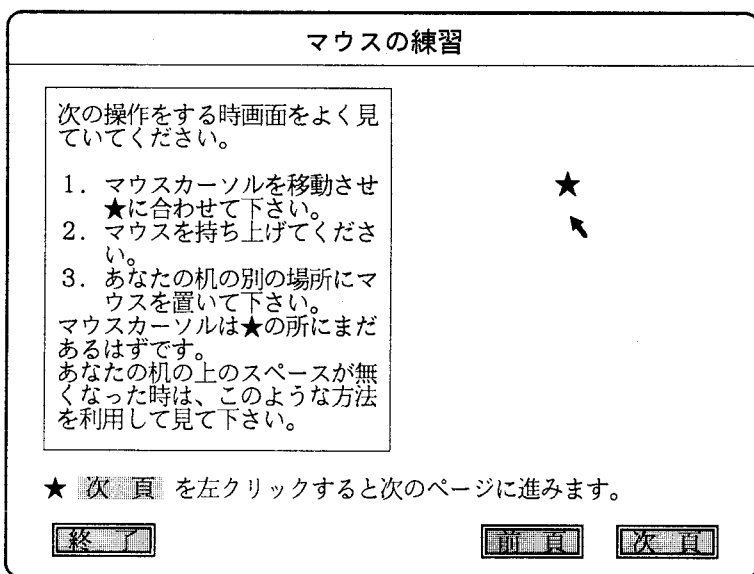
画面は、次のようになります。



練習が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

マウスで **次頁** を左クリックして下さい。

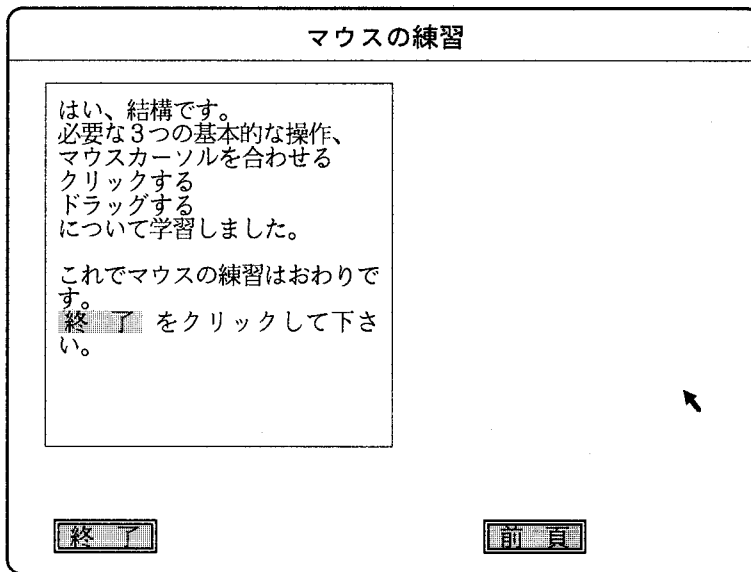
画面は、次のようになります。



マウスの操作が終わりましたら、次の画面に進みましょう。

マウスで **次頁** を左クリックして下さい。

画面は、次のようになります。



ここで、マウスの練習は終了です。

マウスで **終了** を左クリックして下さい。

これでキー入力練習ソフトの練習も全て終了しまし
た。お疲れさまでした。